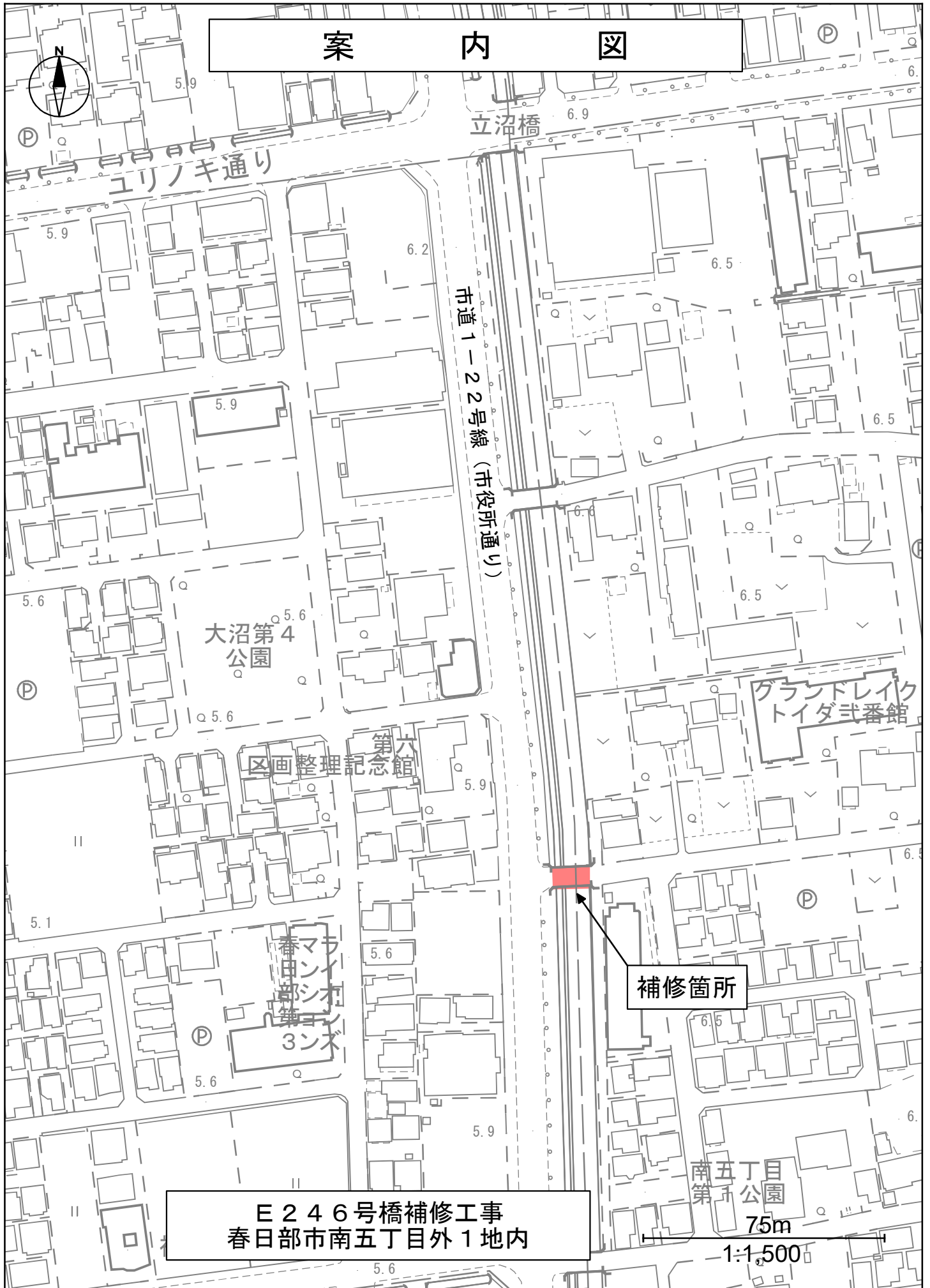


令和 8 年度								工 事 仕 様 書				国 費			
工 事 名		E246号橋補修工事													
工 事 場 所		春日部市南五丁目外1地内													
路 河 川 名 称		市道5－246号線													
事 業 名		橋りょう長寿命化修繕事業													
工 事 大 要		工 事 概 要 低圧注入工法 N=1構造物 左官工法(防錆材あり) N=1構造物 左官工法(防錆材なし) N=1構造物 橋面防水 A=57㎡ 表層 A=57㎡ 区画線 L=19m													

案 内 図



変 更 理 由							
備 考							
地 区	(0001) 県南	労務費補正	1.02	機械経費(賃料)補正	1.00		
単価適用年月	(R0806) 令和08年06月						
工 期	当 初	自		至	令和 8年 12月 18日		
		日 数					
	変 更				至		
経費適用年月	令和08年06月						
主たる工種	橋梁保全工事						
施 工 地 域	一般交通影響有り (2) -1						
設 計	当 初 金 額			変 更 金 額			
	工事価格						
	消費税相当額						
	合計						
請 負	工事価格						
	消費税相当額						
	合計						
	請負増減額						
週休2日区分	閉所型 完全週休 2 日 (土日)						

本 工 事 費 内 訳 書									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
道路維持・修繕						式			
				1					
_ 橋梁保全工事						式			
				1					
_ _ 仮設工						式			
				1					
_ _ _ 仮設工						式			
				1					
_ _ _ _ 足場						掛m2			第1号一位代価表
_ _ 橋梁補修工						式			
				1					
_ _ _ ひび割れ補修工						式			
				1					
_ _ _ _ 低圧注入工法						構造物			第2号一位代価表
				1					
_ _ _ 断面修復工						式			
				1					
_ _ _ _ 左官工法（防錆材あり）						構造物			第3号一位代価表
				1					
_ _ _ _ 左官工法（防錆材なし）						構造物			第4号一位代価表
				1					

本 工 事 費 内 訳 書									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
—	—	橋梁附属物工				式			
				1					
—	—	—	排水施設工			式			
					1				
—	—	—	—	排水管		m			第5号一位代価表
							1.2		
—	—	舗装工				式			
				1					
—	—	—	橋面防水工			式			
					1				
—	—	—	橋面防水			m2			第6号一位代価表
					57				
—	—	—	—	コンクリート削孔		孔			第7号一位代価表
							4		
—	—	—	舗装打換え工			式			
					1				
—	—	—	—	表層		m2			第8号一位代価表
							57		
—	—	区画線工				式			
				1					
—	—	—	区画線工			式			
					1				

本 工 事 費 内 訳 書								
工事区分 工種 種別 細別・規格				数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
— — — 溶融式区画線（文字）					m			第9号一位代価表
				19				
— 構造物撤去工					式			
				1				
— 構造物取壊し工					式			
				1				
— — — コンクリートはつり					m2			第10号一位代価表
				6				
— — — コンクリート積込					m3			第11号一位代価表
				0.3				
— — — 舗装版破碎					m2			第12号一位代価表
				52				
— — — 舗装版切断					m			第13号一位代価表
				10				
— 運搬処理工					式			
				1				
— — — CON殻運搬処理					m3			第14号一位代価表
				0.3				
— — — AS殻運搬処理					m3			第15号一位代価表
				3				
— — — 濁水運搬処理					式			第16号一位代価表
				1				

本 工 事 費 内 訳 書									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
_	【交通誘導警備員】					式			
				1					
_ _	【交通誘導警備員】					式			
				1					
_ _ _	【交通誘導警備員】					式			
				1					
_ _ _ _	交通誘導警備員B					人日			第17号一位代価表
_	直接工事費					式			
				1					
_ _	共通仮設費計					式			
				1					
_ _ _	共通仮設費（率分）					式			
				1					
_	純工事費					式			
				1					
_ _	現場管理費					式			
				1					
_	工事原価計					式			
				1					
_ _	一般管理費等					式			
				1					

本 工 事 費 内 訳 書									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
工事価格						式			
				1					
_ 消費税相当額						式			
				1					
工事費合計						式			
				1					

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

経 費 根 拠 書		
項 目	内 訳	率 / 金額
◆経費計算情報		
経費適用年月	令和08年06月	
主たる工種	橋梁保全工事	
施工地域	一般交通影響有り (2) -1	
除雪工事補正	補正なし	
前払金支出割合	35%を超え40%以下	
契約保証の方法	金銭的保証	
工場管理・間接労務	計上しない	
間接工事費率補正（任意乗算補正）		
共通仮設費率補正	1.02	
現場管理費率補正	1.03	

第1号一位代価表

足場

100.000 掛m2 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
足場工		掛m2			第1号施工表
手摺先行型枠組足場, 必要, 標準(1.0)					
合 計		掛m2			
	(1		当り		

第2号一位代価表

低圧注入工法

1.000 構造物 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
ひび割れ補修工(低圧注入工法)		構造物			第2号施工表
25m以上, 56.9 m, 12.3 kg, 8.4 kg, 205 個	1				
合 計		構造物			

第3号一位代価表

左官工法 (防錆材あり)

1.000 構造物 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
断面修復工(左官工法)		構造物			第3号施工表
有り, 0.1m3未満, 0.09 m3	1				
合 計		構造物			

第4号一位代価表

左官工法（防錆材なし）

1.000 構造物 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
断面修復工(左官工法)		構造物			第4号施工表
無し, 0.1m3未満, 0.004 m3	1				
合 計		構造物			

第5号一位代価表

排水管

100.000 m 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
排水管設置		m			第1号施工P
有り	100				
天板プレート一体型排水装置 (SUS304) □70×120 t=2.0 天板 t=2.0 (アンカーボルト・シール材含む¥)		組			
	333				
合 計		m			
	(1		当り		

第6号一位代価表

橋面防水

100.000 m2 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
塗膜系防水		m2			第5号施工表
新設, 有, 55.1 m/100m2, 有, 54.1 m/100m2, 200m2未満, 無	100				
合 計		m2			
	(1		当り		

第7号一位代価表

コンクリート削孔

100.000 孔 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
コンクリート削孔(電動ハンマドリル)		孔			第2号施工P
	100				
合 計		孔			
	(1		当り		

第8号一位代価表

表層

100.000 m2 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
表層(車道・路肩部) 3.0m超, mm, mm, 50 mm, 各種(2.30以上2.40t/m3未満), 無し, 全ての費用		m2			第3号施工P
	100				
合 計		m2			
	(1		当り		

第9号一位代価表

溶融式区画線 (文字)

100.000 m 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
区画線設置 無し, 溶融式手動, 無し, 矢印・記号・文字 15cm換算, 無し, 1.5mm, 無し, 無し, 含有量15~18%, 白, アスファルト舗装, 全ての費用		m			第6号施工表
	100				
合 計		m			
	(1		当り		

第10号一位代価表

コンクリートはつり

100.000 m2 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
コンクリートはつり 3cmを超え6cm以下、全ての費用		m2			第4号施工 P
	100				
合 計		m2			
	(1		当り		

第11号一位代価表

コンクリート積込

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
積込(コンクリート殻) 全ての費用		m3			第5号施工 P
	100				
合 計		m3			
	(1		当り		

第12号一位代価表

舗装版破碎

100.000 m2 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
舗装版破碎 アスファルト舗装版、無し、必要、15cm以下、有り、全ての費用		m2			第6号施工 P
	100				
合 計		m2			
	(1		当り		

第13号一位代価表

舗装版切断

100.000 m 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断 コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版, 15cm以下, 15cm以下, 全ての費用	100	m			第7号施工P
合 計		m			
	(1		当り		

第14号一位代価表

CON殻運搬処理

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 有り, 5.7km以下, 全ての費用	100	m3			第8号施工P
廃材持込料 区分 越谷県土整備事務所 適用区分 Co廃材[無筋]	235	t			
合 計		m3			
	(1		当り		

第15号一位代価表

AS殻運搬処理

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
殻運搬 舗装版破碎, 機械(騒音対策不要、厚15cm以下), 有り, 10.5km以下, 全ての費用	100	m3			第9号施工P
廃材持込料 区分 越谷県土整備事務所 適用区分 As廃材	235	t			
合 計		m3			
	(1		当り		

第16号一位代価表

濁水運搬処理

1.000 式 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
アスファルト切断濁水運搬費 積載量2t 運搬距離 15kmまで		台			
アスファルト切断濁水処分費 中間処理後,最終処分場に搬入 [焼却 又は溶融含まず]		m3			
	2.3				
合 計		式			

第17号一位代価表

交通誘導警備員B

100.000 人日 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B		人			
合 計		人日			
	(1		当り		

第 0001 号 一位代価表(施工歩掛表) 足場工

100.00 掛m2 当り

(WB252110)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
とび工		人			
普通作業員		人			
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジ ブ型] 25t吊		日			
諸雑費 (率・まるめ)	1	式			
合 計	1	掛m2	当り		

	条件名称	入力名称
J01	工法	手摺先行型枠組足場
J02	安全ネット	必要
J03	ラフテレーンクレーン賃料 補正	標準(1.0)

(WB229110)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
注入材 エポキシ樹脂 土木補修用1種	12.300	kg			
シール材 エポキシ	11.508	kg			
低圧注入器具	205.000	個			
諸雑費 (率・まるめ)	1	式			
合 計	1	構造物	当り		

条件名称	入力名称
J01 1構造物当り補修延べ延長区分	25m以上
J02 1構造物当り補修延べ延長(実数)	56.9 m
J03 1構造物当り注入材使用量(実数)	12.3 kg
J04 1構造物当りシール材設計量(実数)	8.4 kg
J05 1構造物当低圧注入器具使用量(実)	205 個

(WB229210)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
材料費 ポリマーセメントモルタル	0.106	m3			
諸雑費 (率・まるめ)	1	式			
合 計	1	構造物	当り		

	条件名称	入力名称
J01	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無	有り
J02	1構造物当り修復延べ体積区分	0.1m3未満
J03	1構造物当り修復延べ体積(実数)	0.09 m3

(WB229210)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
材料費 ポリマーセメントモルタル	0.005	m3			
諸雑費 (率・まるめ)	1	式			
合 計	1	構造物	当り		

	条件名称	入力名称
J01	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無	無し
J02	1構造物当り修復延べ体積区分	0.1m3未満
J03	1構造物当り修復延べ体積(実数)	0.004 m3

(WB812920)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
橋面防水工 塗膜系防水(アスファルト系)新設	100.000	m2			
床版排水材(導水パイプ) Φ18 ステンレス	57.855	m			
目地材(橋面防水用) t=5 W=100	56.805	m			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合 計	1	m2	当り		

条件名称
 J01 作業区分
 J02 床版排水(ドレーン)材の有
 無
 J03 床版排水(ドレーン)材数
 量(実数)
 J04 目地材の有無
 J05 目地材数量(実数入力)
 J06 施工規模
 J08 夜間作業補正

入力名称
 新設
 有
 55.1 m/100m2
 有
 54.1 m/100m2
 200m2未満
 無

第 0006 号 一位代価表(施工歩掛表) 区画線設置

1,000.00 m 当り

(WB821210)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
区画線設置(熔融式) 昼間 豪雪無 矢印・記号・文字 制約無	1,200.000	m			
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ15～18 白	684.000	kg			
ガラスビーズ 0.106～0.850mm	30.000	kg			
接着用プライマー 区画線用	30.000	kg			
軽油		L			
諸雑費 (率・まるめ)	1	式			
合 計	1	m	当り		

条件名称	入力名称
J01 夜間作業の有無	無し
J02 施工方法区分	熔融式手動
J03 豪雪補正の有無	無し
J04 規格・仕様区分	矢印・記号・文字 15cm換算
J05 時間的制約の有無	無し
J06 塗布厚	1.5mm
J07 排水性舗装に施工する場合の補正	無し
J08 未供用区間の場合の補正	無し
J09 熔融式塗料規格	含有量15～18%
J11 塗料区分	白
J12 プライマー規格	アスファルト舗装
J13 費用の内訳	全ての費用

第 0001 号 一位代価表(施工P構成表) 排水管設置

1 m 当り

(CB473320)

施工P(機 0.000%, 労100.000%, 材 0.000%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
特殊作業員		47.34		R1
普通作業員		30.05		R2
土木一般世話役		22.12		R3
積算単価		標準単価		

条件名称
J01 足場の有無

入力名称
有り

第 0002 号 一位代価表(施工P構成表) コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

1 孔 当り

(CB435920)

施工P(機 0.000%, 労100.000%, 材 0.000%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
土木一般世話役		45.47		R1
特殊作業員		41.49		R2
積算単価		標準単価		

条件名称

入力名称

第 0003 号 一位代価表(施工 P 構成表) 表層(車道・路肩部)

1 m2 当り

(CB410260)

施工P(機 1.420%, 労10.480%, 材88.100%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
アスファルトフィニッシャ [ホイール型]舗装幅2.3～6.0m		0.95		K1
タイヤローラ[普通型] 運転質量13～14t		0.15		K2
ロードローラ[マカダム] 運転質量10～12t		0.15		K3
普通作業員		3.97		R1
運転手(特殊)		2.23		R2
特殊作業員		2.2		R3
土木一般世話役		0.79		R4
改質アスファルト混合物 改質AS 密粒 II 型(13)		87.5		Z1
軽油		0.53		Z2
積算単価		標準単価		

J01	条件名称	入力名称
J04	平均幅員	3.0m超
J05	1層当平均仕上厚 70mm以下	50 mm
J06	材料	各種(2.30以上2.40t/m3未満)
J07	瀝青材料種類	無し
	費用の内訳	全ての費用

第 0004 号 一位代価表(施工 P 構成表) コンクリートはつり

1 m2 当り

(CB224250)

施工P(機 1.380%, 労95.490%, 材 3.130%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
空気圧縮機[可搬式・エンジン駆動・スクリュ型] 吐出量5.0m3/min		1.34		K1
特殊作業員		41.1		R1
普通作業員		31.19		R2
土木一般世話役		20.42		R3
軽油		3.04		Z1
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
平均はつり厚
J02 費用の内訳

入力名称
3cmを超え6cm以下
全ての費用

第 0005 号 一位代価表(施工 P 構成表) 積込(コンクリート殻)

1 m3 当り

(CB224260)

施工 P (機 9.240%, 労 86.650%, 材 4.110%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
バックホウ(クローラ型)[標準型] 排出ガス対策型(2014年規制) 山 積0.8m3		9.24		K1
普通作業員		78.2		R1
運転手(特殊)		8.45		R2
軽油		4.11		Z1
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
費用の内訳

入力名称
全ての費用

第 0006 号 一位代価表(施工 P 構成表) 舗装版破碎

1 m2 当り

(CB430310)

施工P(機30.650%, 労63.790%, 材 5.560%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735～850mm破碎力550～980kN		21.16		K1
バックホウ(クローラ型)[後方超小旋 回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		9.49		K2
運転手(特殊)		28.25		R1
普通作業員		24.76		R2
土木一般世話役		10.78		R3
軽油		5.56		Z1
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	舗装版種別	アスファルト舗装版
J02	障害等の有無	無し
J03	騒音振動対策	必要
J04	舗装版厚	15cm以下
J06	積込作業の有無	有り
J07	費用の内訳	全ての費用

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)] 湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm		8.92		K1
特殊作業員		17.37		R1
土木一般世話役		9.5		R2
普通作業員		7.79		R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ		32.35		Z1
ガソリン レギュラー		2.45		Z2
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
 J03 舗装版種別
 J04 コンクリート舗装版厚
 J05 Co+As(カバ-)舗装版の全体厚
 費用の内訳

入力名称
 コンクリート+アスファルト(カバ-)舗装版
 15cm以下
 15cm以下
 全ての費用

第 0008 号 一位代価表(施工P構成表) 殻運搬

1 m3 当り

(CB227010)

施工P(機40.770%, 労44.820%, 材14.410%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級		40.77		K1
運転手(一般)		44.82		R1
軽油		14.41		Z1
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	殻発生作業	コンクリート(無筋)構造物とりこわし
J02	積込工法区分	機械積込
J03	DID区間の有無	有り
J04	運搬距離(km)(DID区間有無)	5.7km以下
J13	費用の内訳	全ての費用

第 0009 号 一位代価表(施工P構成表) 殻運搬

1 m3 当り

(CB227010)

施工P(機44.050%, 労39.870%, 材16.080%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級		44.05		K1
運転手(一般)		39.87		R1
軽油		16.08		Z1
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	殻発生作業	舗装版破碎
J02	積込工法区分	機械(騒音対策不要、厚15cm以下)
J03	DID区間の有無	有り
J08	運搬距離(km)(DID区間有)	10.5km以下
J13	費用の内訳	全ての費用

積 算 条 件 一 覧 表

単価表番号	名 称 / 規 格	単 位	単 価	摘 要
第0001号施工表	足場工 手摺先行型枠組足場, 必要, 標準(1.0)	掛m2		WB252110
第0002号施工表	ひび割れ補修工(低圧注入工法) 25m以上, 56.9 m, 12.3 kg, 8.4 kg, 205 個	構造物		WB229110
第0003号施工表	断面修復工(左官工法) 有り, 0.1m3未満, 0.09 m3	構造物		WB229210
第0004号施工表	断面修復工(左官工法) 無し, 0.1m3未満, 0.004 m3	構造物		WB229210
第0005号施工表	塗膜系防水 新設, 有, 55.1 m/100m2, 有, 54.1 m/100m2, 200m2未満, 無	m2		WB812920
第0006号施工表	区画線設置 無し, 溶融式手動, 無し, 矢印・記号・文字 15cm換算, 無し, 1.5mm, 無し, 無し, 含有量15~18%, 白, アスファルト舗装, 全ての費用	m		WB821210
第0001号施工P	排水管設置 有り	m		CB473320
第0002号施工P	コンクリート削孔(電動ハンマドリル)	孔		CB435920
第0003号施工P	表層(車道・路肩部) 3.0m超, mm, mm, 50 mm, 各種(2.30以上2.40t/m3未満), 無し, 全ての費用	m2		CB410260
第0004号施工P	コンクリートはつり 3cmを超え6cm以下, 全ての費用	m2		CB224250
第0005号施工P	積込(コンクリート殻) 全ての費用	m3		CB224260

積 算 条 件 一 覧 表

単価表番号	名 称 / 規 格	単 位	単 価	摘 要
第0006号施工P	舗装版破碎 アスファルト舗装版, 無し, 必要, 15cm以下, 有り, 全ての費用	m2		CB430310
第0007号施工P	舗装版切断 コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版, 15cm以下, 15cm以下, 全ての費用	m		CB430510
第0008号施工P	殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 有り, 5.7km以下, 全ての費用	m3		CB227010
第0009号施工P	殻運搬 舗装版破碎, 機械(騒音対策不要、厚15cm以下), 有り, 10.5km以下, 全ての費用	m3		CB227010

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、請負者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

工事特記仕様書

(趣 旨)

第1条 この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるもののほか、工事に関し必要な事項を定めるものとする。

(適 用)

第2条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。

- ・工 事 名 E 2 4 6 号橋補修工事
- ・工事場所 春日部市南一丁目外1地内

(共通事項)

第3条 受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」等に基づき、次の対象工事について、本工事に係る再生資源利用【促進】計画書を作成し、施工計画書に含め各1部提出する。また、工事完成後速やかに計画の実施状況（実績）について、再生資源利用【促進】実施書を作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を保存する。

○ 再生資源利用計画書（実施書）の作成対象工事（下記のいずれかに該当する工事）

- ① 500m³以上の土砂を搬入する工事
- ② 500 t以上の砕石を搬入する工事
- ③ 200 t以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事
- ④ 最終請負金額100万円以上の工事

○ 再生資源利用促進計画書（実施書）の作成対象工事（下記のいずれかに該当する工事）

- ① 500m³以上の建設発生土を搬出する工事
- ② アスコン塊、コンクリート塊、及び建設発生木材の合計で200 t以上搬出する工事
- ③ 最終請負金額100万円以上の工事

2 受注者は、施工計画書に建設廃棄物の処理計画を添付する。なお、建設廃棄物の処分にあたり、排出事業者は処分業者と建設廃棄物処理委託計画を締結し、同契約書の写しを処理計画に添付する。

また、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結する。

3 建設廃棄物については、「産業廃棄物処理におけるマニフェストシステム」に基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票を監督員に提示し、確認を受けること。また、工事検査時には原本を提示しなければならない。

(建設発生土の搬出)

第4条 建設発生土は、以下に示す土質改良プラントへ搬出し、受入地までの片道運搬距離は仕様書によるものとする。

ア 土質改良プラント 埼玉県内の石灰改良プラント

2. 受注者は500m³以上の建設発生土を搬出する場合は、埼玉県土砂の搬出、たい積等の規制に関する条例（埼玉県土砂条例）に基づき、土砂排出届書を受理担当機関へ提出する。
3. 受注者は、規定様式により搬出前に搬出先市町村の建設発生土担当窓口あてに建設発生土の搬出情報を郵便・FAX等で提供し、その写しを監督員に提出する。

(建設廃棄物の再資源化等)

第5条 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月

31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づいて、特定建設資材廃棄物を再資源化のための施設に搬入する場合は、適切な施設としなければならない。

なお、特定建設資材廃棄物とは、特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート）が廃棄物となったものである。

- 2 受注者は、契約前「分別解体等の計画等」について、文書で発注者に説明するものとする。
- 3 受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づき、以下の事項等を別紙「再資源化等報告書」に記載し、監督員に報告しなければならない。

- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した年月日
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用

また、同条第1項に基づき、特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存しなければならない。

なお、資源有効利用促進法等に基づく再生資源利用【促進】実施書を作成している場合は、その写しを参考資料として報告書に添付するものとする。

- 4 受注者は、工事の施工に当たっては、「彩の国建設リサイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再資源化等に努め、廃棄物の減量を図らなければならない。

(再生資材の利用)

第6条 下記の再生資材を、備考欄の部分に利用すること。

資材名	規 格	備 考
—	—	—

なお、現場から40kmの範囲の再資源化のための施設から供給が困難な場合は、新材への設計変更の対象とする。

(週休2日制モデル工事)

第7条 本工事は、春日部市「週休2日制モデル工事（現場閉所型）」の試行対象工事である。

試行の実施は、春日部市「週休2日制モデル工事」試行要領によるものとする。試行要領は、春日部市ホームページで確認すること。

○春日部市ホームページ

https://www.city.kasukabe.lg.jp/jigyoshamuke/nyusatsu_keiyaku/seidogaiyo/ken-setugyouhatarakikatakaikaku/34458.html

(情報システムの活用)

第8条 本工事は、「春日部市建設工事情報共有システム実施要領」第3条第1項に基づき、情報共有システムを活用すること。

実施にあたっては、「春日部市建設工事情報共有システム実施要領」に基づくものとするので予め市のウェブページを参照すること。

○春日部市ホームページ

https://www.city.kasukabe.lg.jp/jigyoshamuke/nyusatsu_keiyaku/seidogaiyo/ken-setugyouhatarakikatakaikaku/34460.html

(その他)

第9条 工事完成図書については、検査完了後、下記の電子データをCD-R等で納品しなければならない。

- ・材料承諾書類一式
- ・完成図書（PDF・CADデータ）
- ・工事写真
- ・その他監督員が必要と認めるもの

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

(趣 旨)

第1条 この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

(適 用)

第2条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。

工 事 名 E 2 4 6 号橋補修工事

工事場所 春日部市南一丁目外1地内

(濁水の処理)

第3条 受注者は、回収した濁水を適切な処理を行わなければならない。

なお、本工事における設計図書では、下記の処理方法で処分することを想定しているが、契約締結時に発注者と受注者の間で確認される事項であるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

種類及び処理量	汚泥（油分を含む汚泥）、2. 3 m ³
処理方法	中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却含まず）

(共通事項)

第4条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。

3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。

4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。

(提出書類)

第5条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第4条第2項及び第3項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストを監督員に提示し、確認を受けなければならないものとする。また、工事検査時には原本を提示しなければならない。

(その他)

第6条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

E246号橋補修工事

数量計算書

1. 数量総括表

1.1. 全体総括表（その1）

工種・細目		規格	単位	数量	摘要
ひびわれ補修工					
ひびわれ注入工	注入工延長		m	56.9	
	シーラ材	エポキシ樹脂系, ロス率37%含む	kg	8.4	
	注入材	エポキシ樹脂系, ロス率40%含む	kg	12.3	
	注入器具	0.3m当り1本	本	205	
断面修復工					
断面修復工A	補修面積		m ²	1.2	
	補修体積		m ³	0.08	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.08	参考重量, 0.18t
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル（防錆材あり）	m ³	0.09	ロス率18%含む
断面修復工B	補修面積		m ²	0.07	
	補修体積		m ³	0.003	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.003	参考重量, 0.007t
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル（防錆材なし）	m ³	0.004	ロス率18%含む
橋面工					
舗装 打換工	撤去	コンクリート舗装 (t=50mm)	m ²	5.7	
			m ³	0.3	参考重量, 0.67t
		アスファルト舗装 (t=50mm)	m ²	51.6	
			m ³	2.6	参考重量, 6.07t
		舗装版切断	m	9.6	
	復旧	密粒度アスファルト混合物 改質Ⅱ型(13) (t=50mm)	m ²	57.4	
路面標示工					
		道路標示(白色文字)	m	18.6	溶融式手動t=1.5mm 【15cm換算長】

1. 2. 全体総括表（その2）

工種・細目			規格	単位	数量	摘要
橋面 防水工	防水層面積		塗膜系防水層 (アスファルト加熱型)	m ²	57.4	
	端部 目地 処理	橋軸方向	シルバーメッシュ同等品 (t=50mm)	m	19.1	必要幅150mm
		橋軸直角方向	シルバーメッシュ同等品 (t=50mm)	m	12.0	必要幅150mm
	成形目地材		セロシールSSテープⅡ型 同等品 (t=5mm)	m	31.1	
	導水パイプ		φ18ドレイナー同等品以上 (ステンレス)	m	31.7	
	削孔工		φ20×159	箇所	4.0	
排水装置改良工						
流末 延伸工	天板プレート一体型 排水装置			組	4	SUS304
	流末延伸延長			m	1.2	□70×120, t=2.0mm, L=300mm
	アンカー設置工	鉄筋探査工		m ²	0.1	上向き
		設置本数		本	16	
		コンクリート削孔工		孔	16	
		エポキシ樹脂注入工		kg	0.5	
	接着面シーリング塗布			m ²	0.1	
足場工						
足場工			枠組足場	掛m ²	79	

2. ひびわれ補修工

2. 1. 上部工 ひびわれ注入工 数量総括表

	単位	数量	摘要
注入工延長	m	56. 90	
シール材	kg	8. 42	エポキシ樹脂系, ロス率37%含む
注入材	kg	12. 34	エポキシ樹脂系, ロス率40%含む
注入器具	本	205	0. 3m当り1本

2. 2. 上部工 ひびわれ注入工

2. 2. 1. ひびわれ注入工明細計算書

桁下

ひびわれ h (0. 2mm以上～1. 0mm未満) 数量表

整理番号	損傷寸法			総延長 (m)	注入器具
	幅 (mm)	長さ (mm)	箇所		個数 (個)
主桁					
h1	0.3	700	1	0.700	3
h2	0.3	2600	1	2.600	9
h3	0.4	2800	1	2.800	10
h4	0.4	2800	1	2.800	10
h5	0.4	1700	1	1.700	6
h6	0.4	600	1	0.600	2
h7	0.2	200	1	0.200	1
h8	0.2	2700	1	2.700	9
h9	0.2	700	1	0.700	3
h10	0.3	1100	1	1.100	4
h11	0.3	1700	1	1.700	6
h12	0.2	1700	1	1.700	6
h13	0.3	350	1	0.350	2
h14	0.3	500	1	0.500	2
h15	0.5	1600	1	1.600	6
h16	0.2	900	1	0.900	3
h17	0.2	700	1	0.700	3
h18	0.4	2600	1	2.600	9
h19	0.4	650	1	0.650	3
h20	0.2	250	1	0.250	1
h21	0.5	700	1	0.700	3
h22	0.2	1200	1	1.200	4
h23	0.4	2100	1	2.100	7
h24	0.5	2100	1	2.100	7
h25	0.3	1300	1	1.300	5
h26	0.2	1000	1	1.000	4
h27	0.3	2900	1	2.900	10
h28	0.2	1350	1	1.350	5
h29	0.2	600	1	0.600	2
h30	0.3	2500	1	2.500	9
h31	0.7	2700	1	2.700	9
h32	0.2	1700	1	1.700	6
h33	0.4	2400	1	2.400	8

ひびわれ h (0.2mm以上～1.0mm未満) 数量表

整理番号	損傷寸法			総延長 (m)	注入器具
	幅 (mm)	長さ (mm)	箇所		個数 (個)
横桁					
h34	0.4	300	1	0.300	1
h35	0.3	500	1	0.500	2
h36	0.2	500	1	0.500	2
h37	0.3	400	1	0.400	2
h38	0.4	500	3	1.500	5
h39	0.2	250	1	0.250	1
h40	0.4	500	3	1.500	5
h41	0.3	350	1	0.350	2
h42	0.3	200	1	0.200	1
h43	0.5	500	3	1.500	5
h44	0.2	500	1	0.500	2
ひびわれ注入工 合計				56.900	205

2.2.2. 注入工延長

ひびわれ延長（ひびわれ数量表より）

桁下

L= 56.90 m

ひびわれ注入工 延長合計 ΣL = 56.90 m

2.2.3. 注入材質量

シール材(エポキシ樹脂系)

比重： 1.2

ロス率： 1.37

桁下

$$w = \frac{56.900}{\text{延長}} \times \frac{0.030}{\text{幅}} \times \frac{0.003}{\text{厚さ}} \times \frac{1200}{\text{比重}} \times \frac{1.37}{\text{ロス率}} = 8.42 \text{ kg}$$

ひびわれ注入工 シール材質量合計 ΣW = 8.42 kg

2.2.4. 注入器具

0.3m当り1本

桁下

n= 数量表より = 205 本

ひびわれ注入工 注入器具合計 ΣN = 205 本

2.2.5. 注入材質量

注入材(エポキシ樹脂系)

注入器容量想定： 43 g/本

ロス率： 1.40

$$w = \frac{205}{\text{本数}} \times \frac{0.043}{\text{容量}} \times \frac{1.40}{\text{ロス率}} = 12.34 \text{ kg}$$

ひびわれ注入工 注入材質量合計 ΣW = 12.34 kg

3. 断面修復工

3.1. 断面修復工 総括表

工種		規格	単位	数量	摘要
断面 修復工A	補修面積		m ²	1.24	
	補修体積		m ³	0.08	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.08	参考重量, 0.18t
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル(防錆材あり)	m ³	0.09	ロス率18%含む
断面 修復工B	補修面積		m ²	0.07	
	補修体積		m ³	0.003	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.003	参考重量, 0.007t
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル(防錆材なし)	m ³	0.004	ロス率18%含む

3.2. 上部工 断面修復工

3.2.1. 断面修復工 明細計算書

桁下

番号	名 称	損傷種類	補修寸法			面積 (m^2)	深さ (mm)	体積 (m^3)
			幅	長さ	箇所			
U1	主桁	うき	200	100	1	0.020	60	0.0012
U2	主桁	うき	100	100	2	0.020	60	0.0012
U3	地覆	うき	600	200	1	0.120	60	0.0072
U4	地覆	うき	250	100	1	0.025	60	0.0015
T1	主桁	鉄筋露出	150	120	1	0.018	60	0.0011
T2	主桁	鉄筋露出	50	50	2	0.005	60	0.0003
T3	主桁	鉄筋露出	1300	200	1	0.260	60	0.0156
T4	主桁	鉄筋露出	50	100	2	0.010	60	0.0006
T5	主桁	鉄筋露出	240	200	1	0.048	60	0.0029
T6	主桁	鉄筋露出	50	50	1	0.003	60	0.0002
T7	主桁	鉄筋露出	50	100	1	0.005	60	0.0003
T8	主桁	鉄筋露出	200	150	1	0.030	60	0.0018
T9	主桁	鉄筋露出	100	100	1	0.010	60	0.0006
T10	主桁	鉄筋露出	600	150	1	0.090	60	0.0054
T11	主桁	鉄筋露出	200	160	1	0.032	60	0.0019
T12	主桁	鉄筋露出	100	100	1	0.010	60	0.0006
T13	主桁	鉄筋露出	100	100	1	0.010	60	0.0006
T14	主桁	鉄筋露出	130	100	1	0.013	60	0.0008
T15	主桁	鉄筋露出	50	50	1	0.003	60	0.0002
T16	主桁	鉄筋露出	100	100	1	0.010	60	0.0006
T17	主桁	鉄筋露出	50	140	1	0.007	60	0.0004
T18	主桁	鉄筋露出	50	50	6	0.015	60	0.0009
T19	主桁	鉄筋露出	100	50	1	0.005	60	0.0003
T20	主桁	鉄筋露出	100	100	1	0.010	60	0.0006
T21	主桁	鉄筋露出	150	70	1	0.011	60	0.0007
T22	主桁	鉄筋露出	50	50	1	0.003	60	0.0002
T23	主桁	鉄筋露出	200	150	1	0.030	60	0.0018
T24	主桁	鉄筋露出	200	100	1	0.020	60	0.0012
T25	主桁	鉄筋露出	50	100	2	0.010	60	0.0006
T26	主桁	鉄筋露出	50	120	1	0.006	60	0.0004
T27	主桁	鉄筋露出	100	100	6	0.060	60	0.0036
T28	主桁	鉄筋露出	150	100	1	0.015	60	0.0009
T29	主桁	鉄筋露出	200	120	1	0.024	60	0.0014
T30	主桁	鉄筋露出	50	50	6	0.015	60	0.0009
T31	主桁	鉄筋露出	100	150	1	0.015	60	0.0009
T32	主桁	鉄筋露出	50	50	2	0.005	60	0.0003
T33	主桁	鉄筋露出	100	100	1	0.010	60	0.0006
T34	主桁	鉄筋露出	200	200	1	0.040	60	0.0024
T35	主桁	鉄筋露出	100	50	1	0.005	60	0.0003
T36	主桁	鉄筋露出	250	200	1	0.050	60	0.0030
T37	主桁	鉄筋露出	600	200	1	0.120	60	0.0072
T38	主桁	鉄筋露出	50	50	2	0.005	60	0.0003
断面修復工A 合計						1.223		0.0735

橋面

番号	名 称	損傷種類	補修寸法			面積 (m^2)	深さ (mm)	体積 (m^3)
			幅	長さ	箇所			
T36	地覆	鉄筋露出	100	100	1	0.010	60	0.0006
T37	地覆	鉄筋露出	50	50	1	0.003	60	0.0002
T38	地覆	鉄筋露出	50	100	1	0.005	60	0.0003
断面修復工A 合計						0.018		0.0011

合計

断面修復工A

面積 $\Sigma A = 1.241 \text{ m}^2$ 体積 $\Sigma V = 0.075 \text{ m}^3$

橋面

番号	名 称	損傷種類	補修寸法			面積 (m^2)	深さ (mm)	体積 (m^3)
			幅	長さ	箇所			
H1	地覆	剥離	200	70	1	0.014	30	0.0004
H2	地覆	剥離	100	100	1	0.010	30	0.0003
H3	地覆	剥離	500	100	1	0.050	30	0.0015
H4	地覆	剥離	250	100	1	0.025	30	0.0008
断面修復工B 合計						0.074		0.0030

合計

断面修復工B

面積 $\Sigma A = 0.074 \text{ m}^2$ 体積 $\Sigma V = 0.003 \text{ m}^3$

3. 2. 2. コンクリート殻処理

1) 断面修復工A

無筋（殻運搬含む） 単位質量： 2.35 t/m^3

$V = 0.075 \text{ m}^3$

参考重量 $W = 0.075 \times 2.35 \text{ t/m}^3$ $= 0.176 \text{ t}$

2) 断面修復工B

無筋（殻運搬含む） 単位質量： 2.35 t/m^3

$V = 0.003 \text{ m}^3$

参考重量 $W = 0.003 \times 2.35 \text{ t/m}^3$ $= 0.007 \text{ t}$

3. 2. 3. 断面修復材

1) 断面修復工A

ポリマーセメントモルタル(防錆剤塗布あり) ロス率： 1.18

$V = 0.075 \times 1.18$ $= 0.089 \text{ m}^3$

2) 断面修復工B

ポリマーセメントモルタル(防錆剤塗布なし) ロス率： 1.18

$V = 0.003 \times 1.18$ $= 0.004 \text{ m}^3$

4. 橋面工

4. 1. 橋面工 総括表

4. 1. 1. 舗装打換工 総括表

工種	規格	単位	数量	備考
撤去	コンクリート舗装(t=50mm)	m ²	5.7	
		m ³	0.3	参考重量, 0.67t
	アスファルト舗装(t=50mm)	m ²	51.6	
		m ³	2.6	参考重量, 6.07t
	舗装版切断	m	9.6	
復旧	密粒度アスファルト混合物 改質Ⅱ型(13) (t=50mm)	m ²	57.4	

4. 1. 2. 路面標示工 総括表

工種	規格	単位	数量	備考
路面標示工	道路標示(白色文字)	m	18.6	溶融式手動 t=1.5mm 【15cm換算長】

4. 1. 3. 橋面防水工 総括表

工種	規格	単位	数量	備考
防水層面積	塗膜系防水層 (アスファルト加熱型)	m ²	57.4	
端部 目地処理	橋軸方向	シルバーメッシュ同等品(t=50mm)	m	19.1 必要幅150mm
	橋軸直角方向	シルバーメッシュ同等品(t=50mm)	m	12.0 必要幅150mm
成形目地材	セロシールSSテープⅡ型同等品 (t=5mm)	m	31.1	
導水パイプ	φ18ドレイナー同等品以上 (ステンレス)	m	31.7	
削孔工	φ20×159	箇所	4.0	

4. 2. 舗装打替工 計算書

4. 2. 1. 舗装撤去工

既設コンクリート舗装

面積

$$A = 0.300 \times 9.560 \times 2 = 5.736 \text{ m}^2$$

体積 $t = 50 \text{ mm}$

$$V = 5.736 \times 0.050 = 0.287 \text{ m}^3$$

参考重量 単位質量 : 2.35 t/m^3

$$W = 0.287 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.674 \text{ t}$$

アスファルト舗装

面積

$$A = 5.400 \times 9.560 = 51.624 \text{ m}^2$$

体積 $t = 50 \text{ mm}$

$$V = 51.624 \times 0.050 = 2.581 \text{ m}^3$$

参考重量 単位質量 : 2.35 t/m^3

$$W = 2.581 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 6.065 \text{ t}$$

舗装版切断

切断厚 $t = 10 \text{ cm}$ 濁水処理量 $0.24 \text{ m}^3/100 \text{ m}$

延長 $L = 9.56$

体積

$$V = 0.240 \times 9.560 = 2.294 \text{ m}^3$$

4. 2. 2. 舗装復旧工

密粒度アスファルト混合物改質Ⅱ型(13) $t = 50 \text{ mm}$

面積

$$A = 6.000 \times 9.560 = 57.360 \text{ m}^2$$

4. 3. 路面標示工

路面標示

白色文字, $t = 1.5 \text{ mm}$, 設置数=1

$$L = 18.647 \times 1 = 18.647 \text{ m}$$

(1箇所当り)

4. 4. 橋面防水工

4. 4. 1. 防水層面積

塗膜系防水層(アスファルト加熱型)

面積

$$A = 6.000 \times 9.560 = 57.360 \text{ m}^2$$

4. 4. 2. 端部目地処理

シルバーメッシュ同等品

橋軸方向(必要幅150mm)

$$L = 9.560 \times 2 \text{ 箇所} = 19.120 \text{ m}$$

橋軸直角方向(必要幅150mm)

$$L = 6.000 \times 2 \text{ 箇所} = 12.000 \text{ m}$$

4. 4. 3. 成形目地材

セロシールSSテープⅡ型同等品 (t=5mm)

$$L = (9.560 + 6.000) \times 2 = 31.120 \text{ m}$$

4. 4. 4. 導水パイプ

φ18ドレイナー同等品以上 (ステンレス)

$$L = (9.560 + 6.000 + 0.150 \times 2) \times 2 = 31.720 \text{ m}$$

4. 4. 5. 削孔工

地覆コンクリート削孔 φ20×159

$$N = 4 \text{ 箇所} = 4 \text{ 箇所}$$

5. 排水装置改良工

5.1. 排水装置改良工 総括表

工種	規格		単位	数量	備考
流末延伸工	天板プレート一体型 排水装置		組	4	SUS304
	流末延伸延長		m	1.2	□70×120, t=2.0mm, L=300mm
	アンカー 設置工	鉄筋探索工	m ²	0.1	上向き
		設置本数	本	16	
		コンクリート削孔工	孔	16	
		エポキシ樹脂注入工	kg	0.5	
	接着面シーリング塗布		m ²	0.1	

5.2. 排水装置改良工 計算書

5.2.1. 天板プレート一体型排水装置

$$N = 4 \quad = 4 \text{ 組}$$

5.2.2. 流末延伸延長

$$L = 0.300 \times 4 \text{ 箇所} = 1.20 \text{ m}$$

5.2.3. アンカー設置工

①鉄筋探査工（上向き）

$$A = 0.170 \times 0.220 \times 4 \text{ 箇所} = 0.1 \text{ m}^2$$

②設置本数

アンカーボルトD13x80

$$N = 4 \text{ 本} \times 4 \text{ 箇所} = 16 \text{ 本}$$

③コンクリート削孔工(上方向)

φ23 x 90

$$N = 4 \text{ 孔} \times 4 \text{ 箇所} = 16 \text{ 孔}$$

④エポキシ樹脂注入工

注入材比重：γ = 1.20

D = 13	L = 80 mm	N = 16 本	
エポキシ充填長	L = 90 mm		
削孔径	φ = 23 mm		
削孔面積	Ad = 415 mm ²		
空隙量	Vd = 0.000037 m ³		
アンカー埋込長	L = 80 mm		
アンカー径	D = 13 mm		
アンカー筋面積	As = 127 mm ²		
アンカー筋体積	Vs = 0.000010 m ³		
1本当り充填体積	Vf = 0.000027 m ³	(Vd-Vs)	
W = 0.000027 x 1200 x 16 本			= 0.5 kg

5.2.4. 接着面シーリング塗布

$$A = (0.170 \times 0.220 - 0.070 \times 0.120) \times 4 \text{ 箇所} = 0.1 \text{ m}^2$$

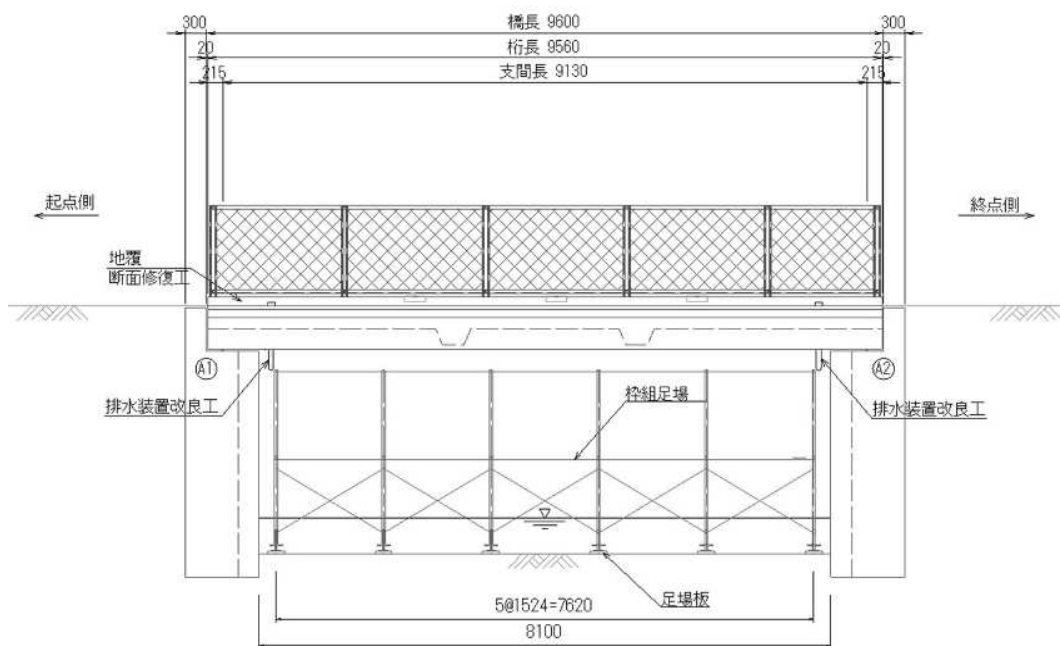
6. 足場工

6.1. 足場工 総括表

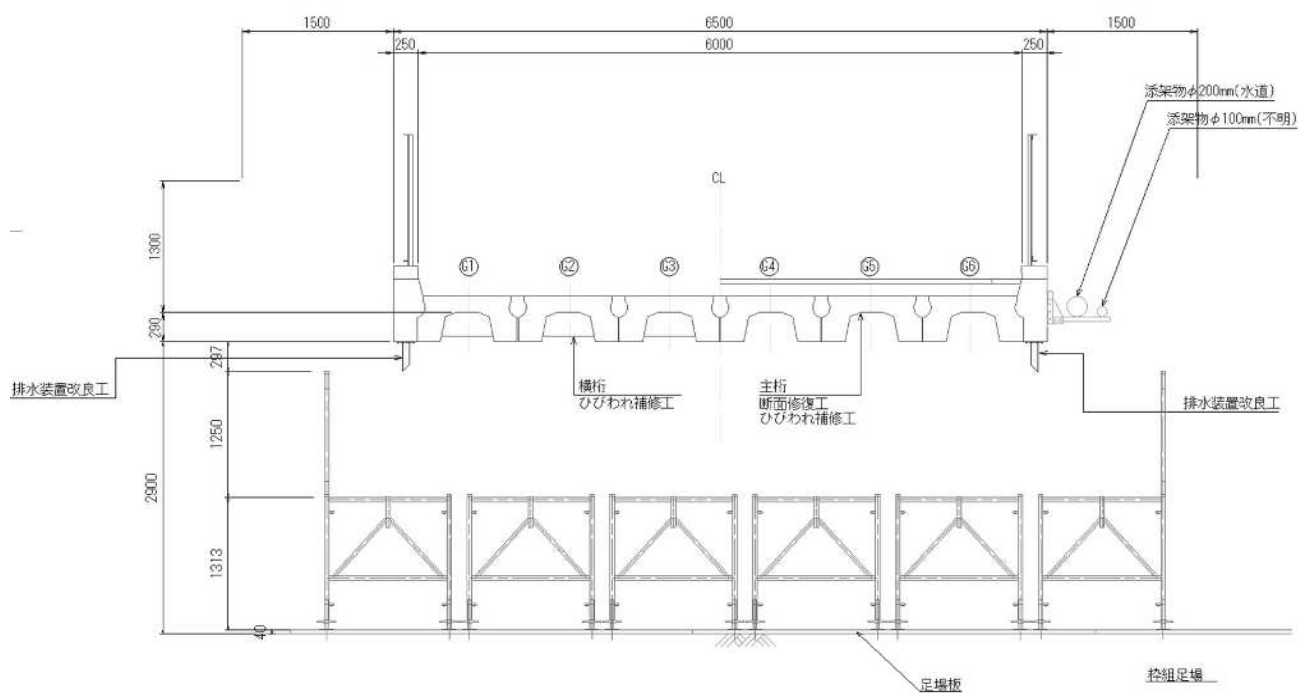
工種	規格	単位	数量	備考
足場工	枠組足場	掛m ²	79.1	

6.2. 足場工 内訳

側面図



断面図



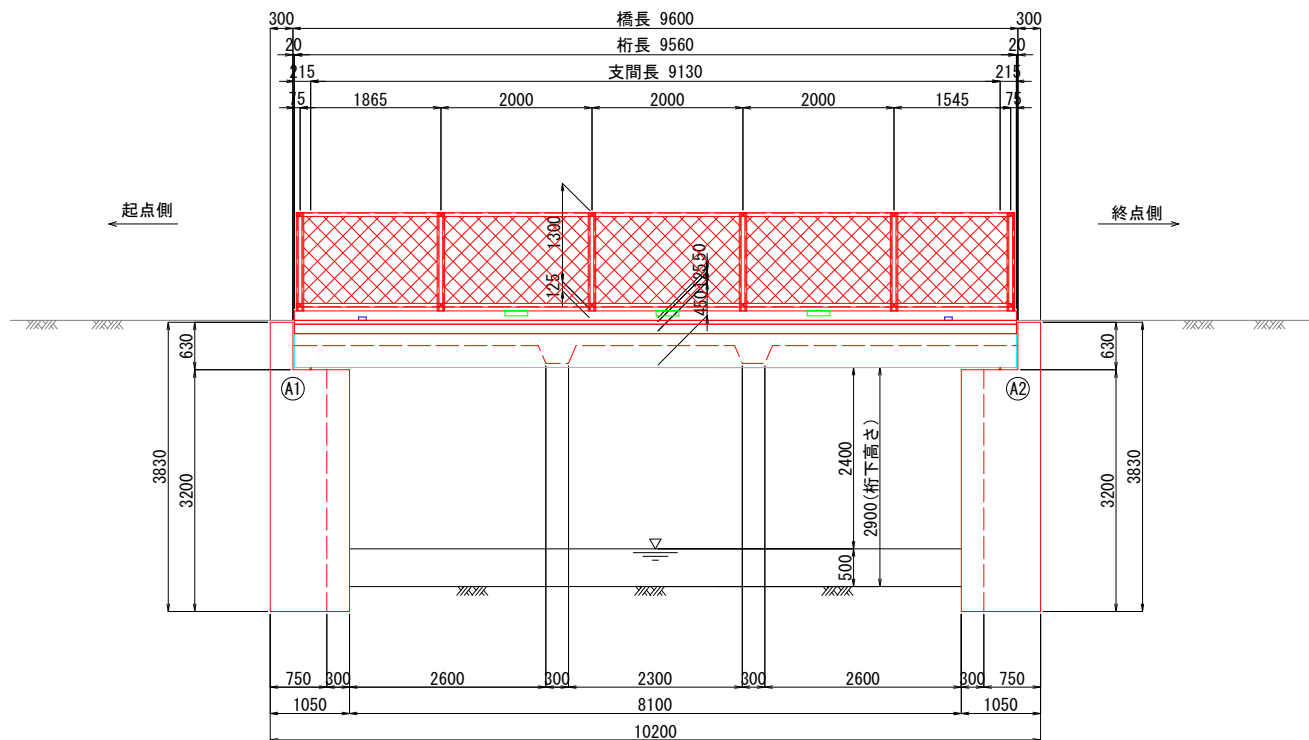
足場工数量

枠組足場

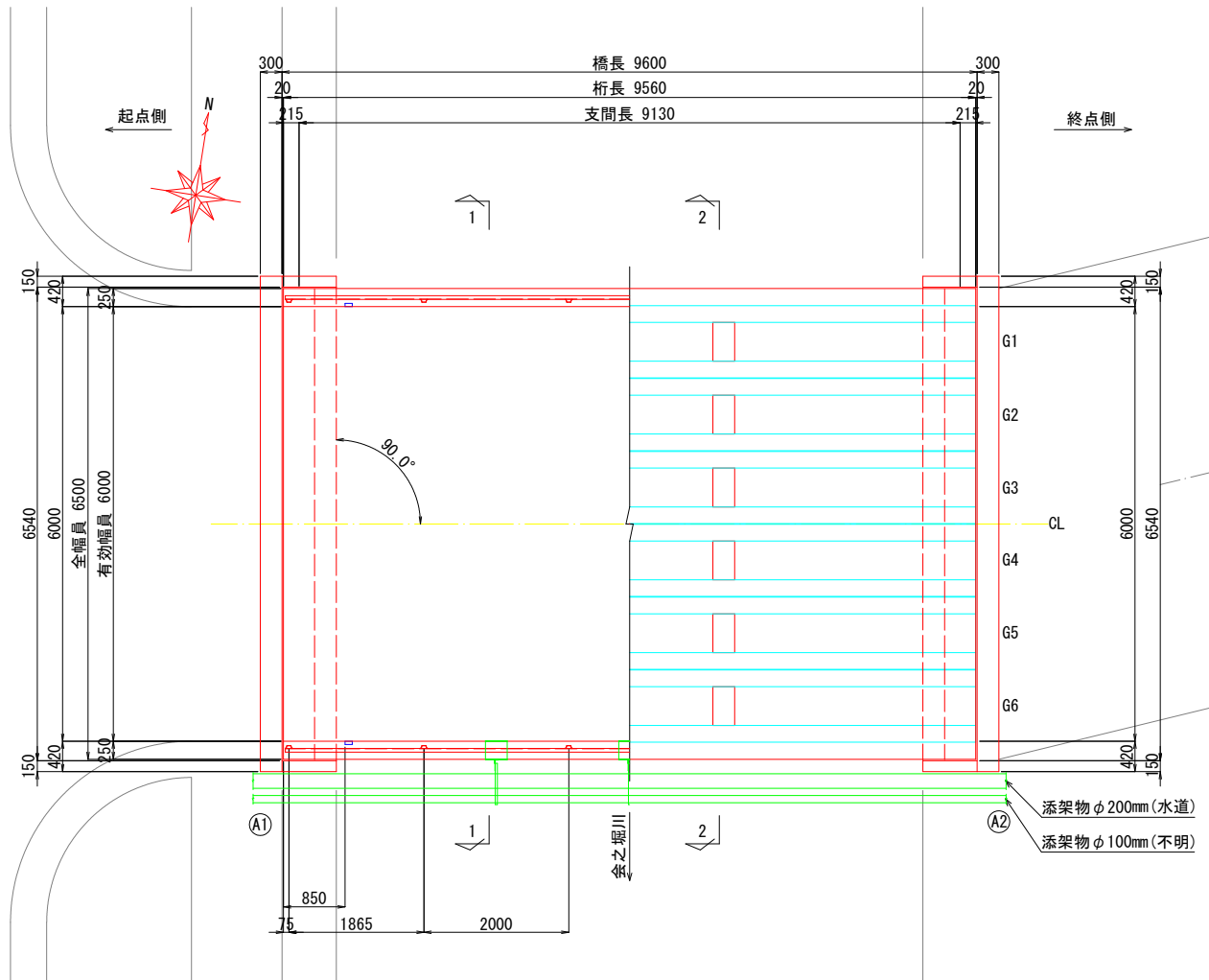
$$A = 2 \times (2.563 \times 7.62) + 4 \times (1.313 \times 7.62) = 79.1 \text{ 掛m}^2$$

E246号橋 現況一般図 S=1:50

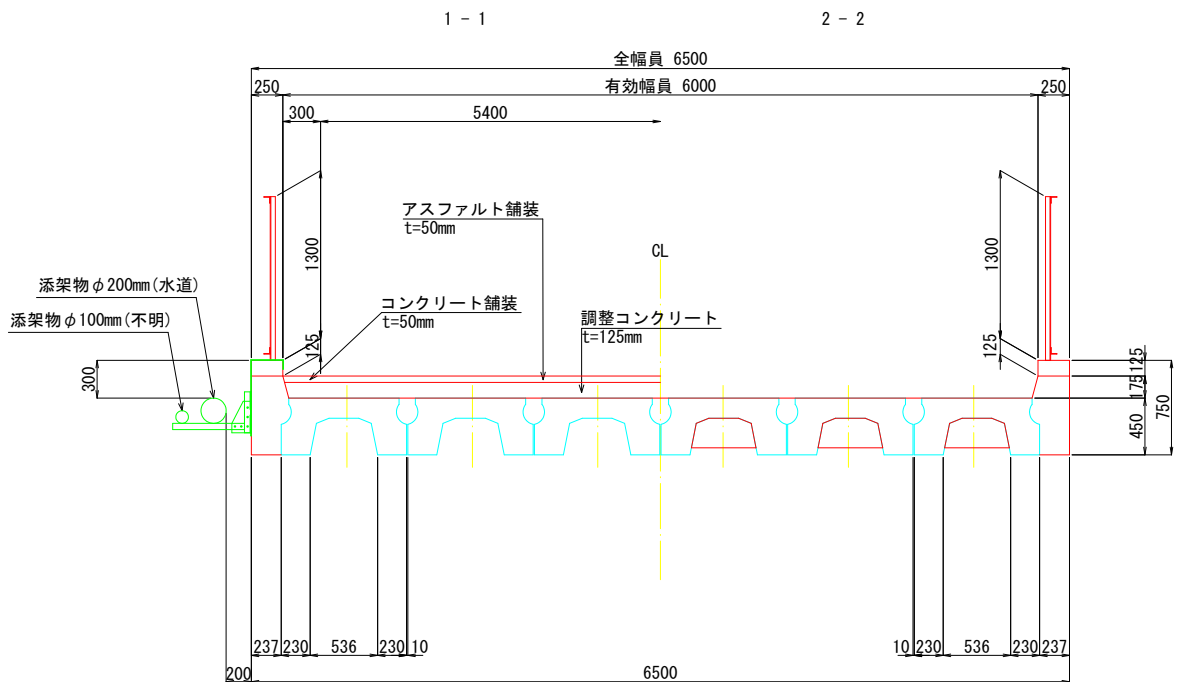
側面図



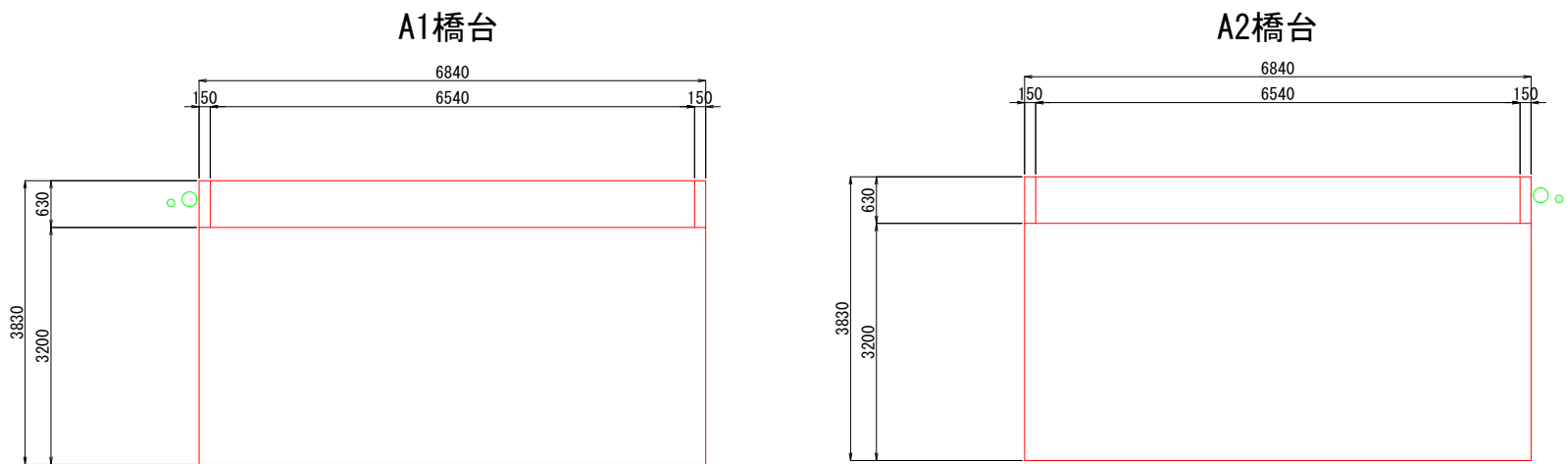
平面図



断面図 S=1:30



正面図



橋梁諸元

橋梁名	E246号橋
路線名	市道5-246号線
橋長	9.560
全幅員	6.500
有効幅員	6.000
支間長	8.700
斜角	90.00°
上部工形式	単純プレキャストRC床版橋
下部工形式	不明
基礎工形式	既成PC杭基礎
適用示方書	不明
設計活荷重	T-14
架設年次	1977年(昭和52年)
交差条件	会之堀川/越谷県土整備事務所 区間

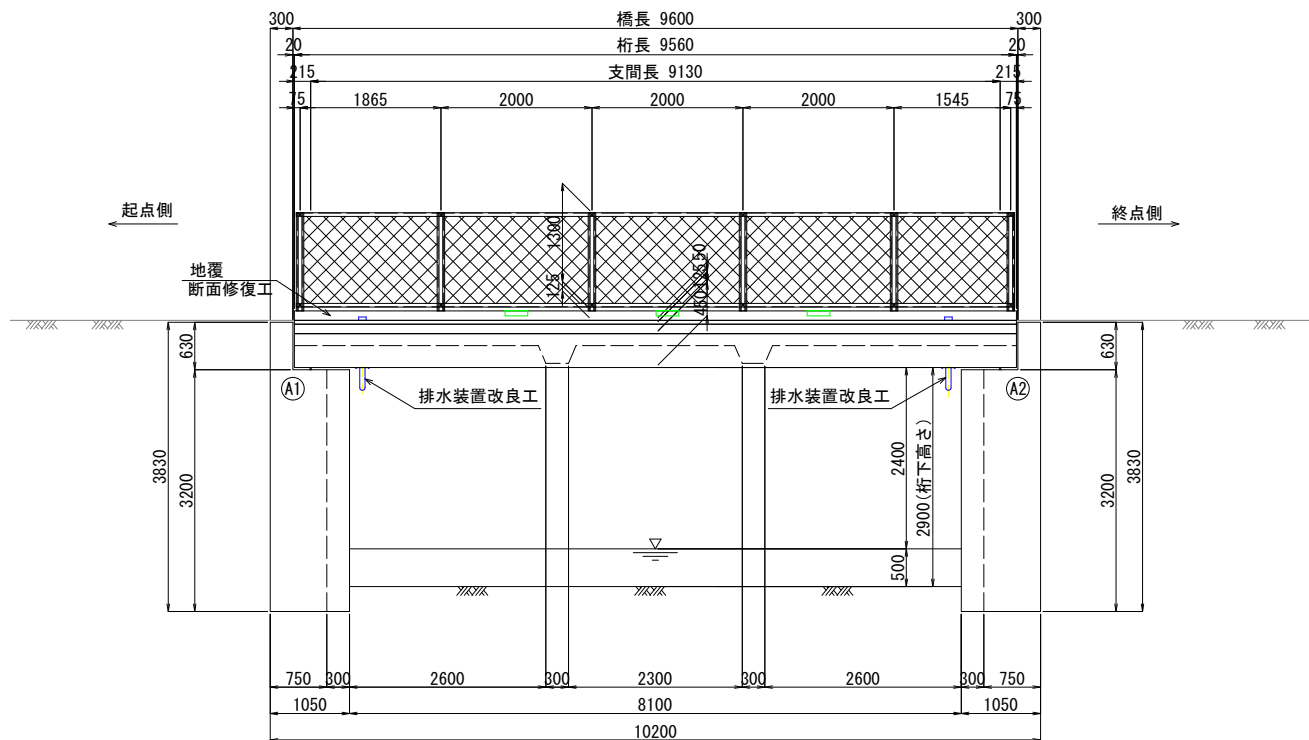
- 注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。
2. 本図での方位はおおよその向きを示すものであり、測量結果に基づくものではない。
3. 上部工は加圧コンクリートスラブCT-450と推定し作図した。

図面サイズ A 1 出力 A 3

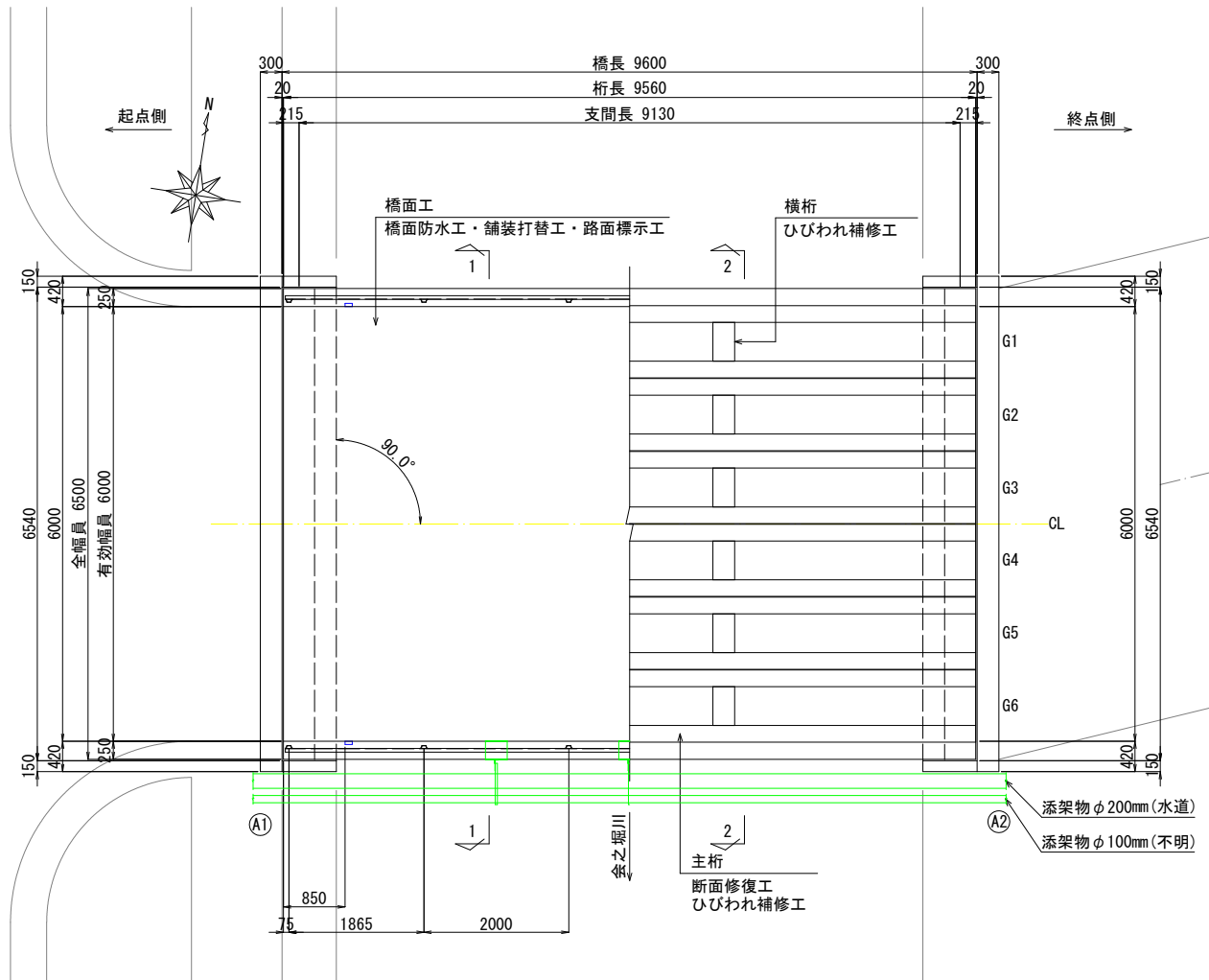
工 事 名	E246号橋補修工事
路 線 名	市道5-246号線
工事箇所	春日部市南五丁目外1地内
図 面 名	E246号橋 現況一般図
縮 尺	図示 図面番号 1 / 9
春日部市 建設部 道路建設課	

E246号橋 補修一般図 S=1:50

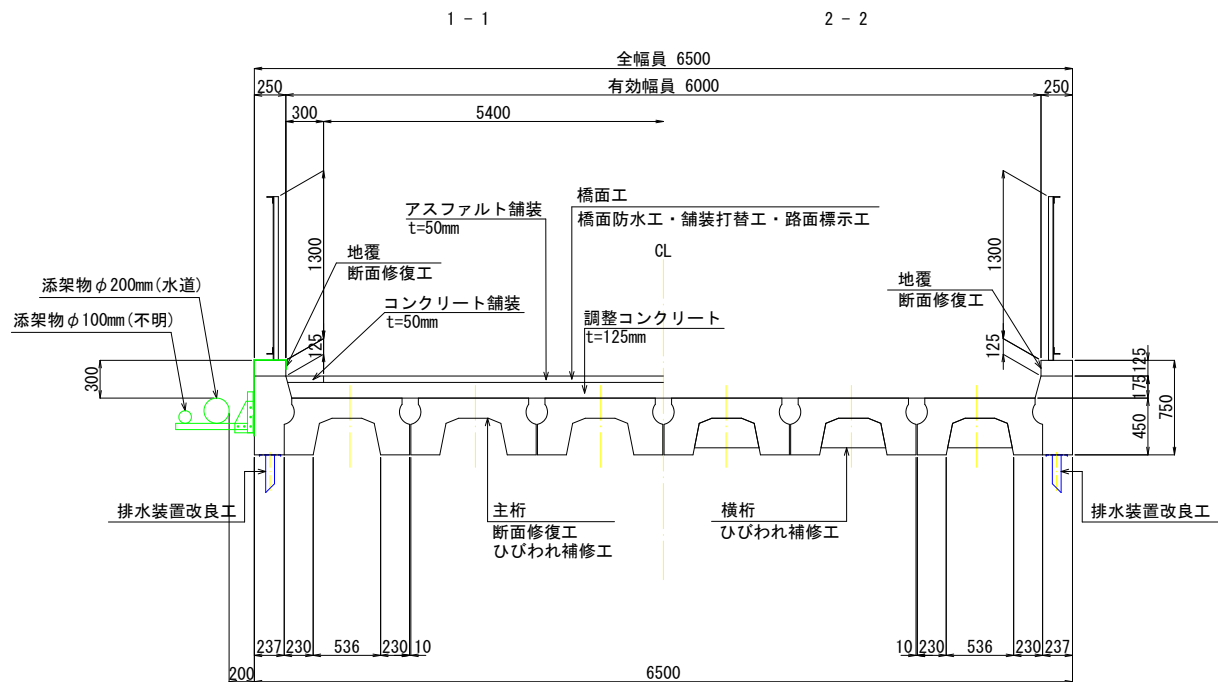
側面図



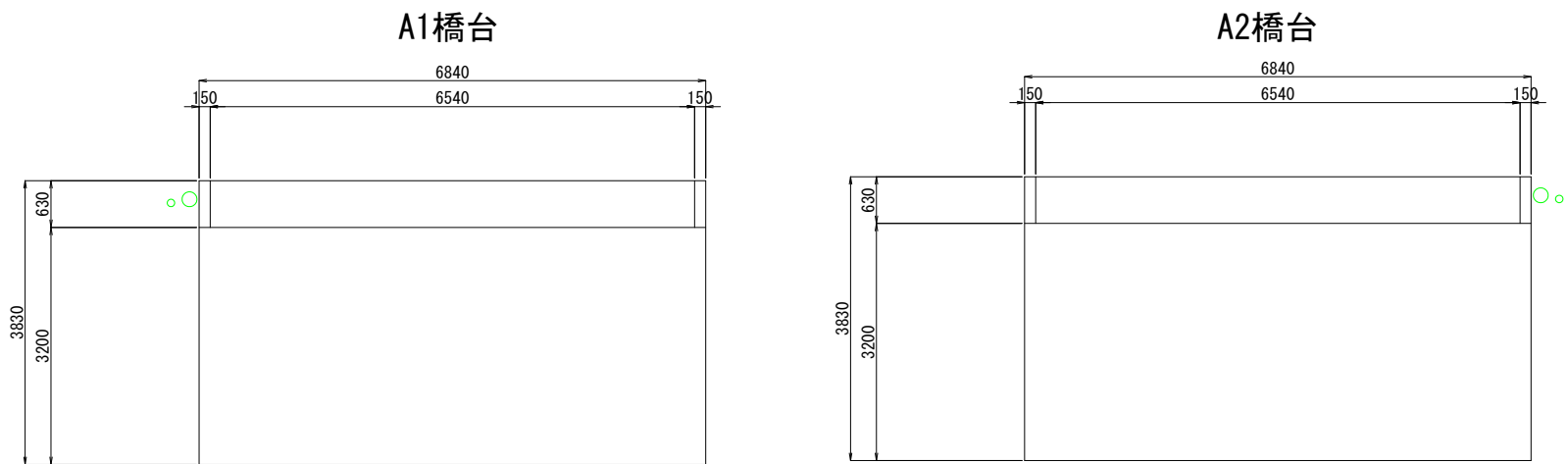
平面図



断面図 S=1:30



正面図



補修対策一覧

対 策 工		補 修 箇 所
上部工	ひびわれ補修工	主桁、横桁
	断面修復工	主桁、地覆
	橋面工	橋面防水工 塗膜系防水層(アスファルト加熱型)
		舗装打替工 舗装厚: t=50mm
		路面標示工 白色文字
	排水装置改良工	全箇所

- 注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。
2. 本図での方位はおおよその向きを示すものであり、測量結果に基づくものではない。
3. 上部工は加圧コンクリートスラブCT-450と推定し作図した。

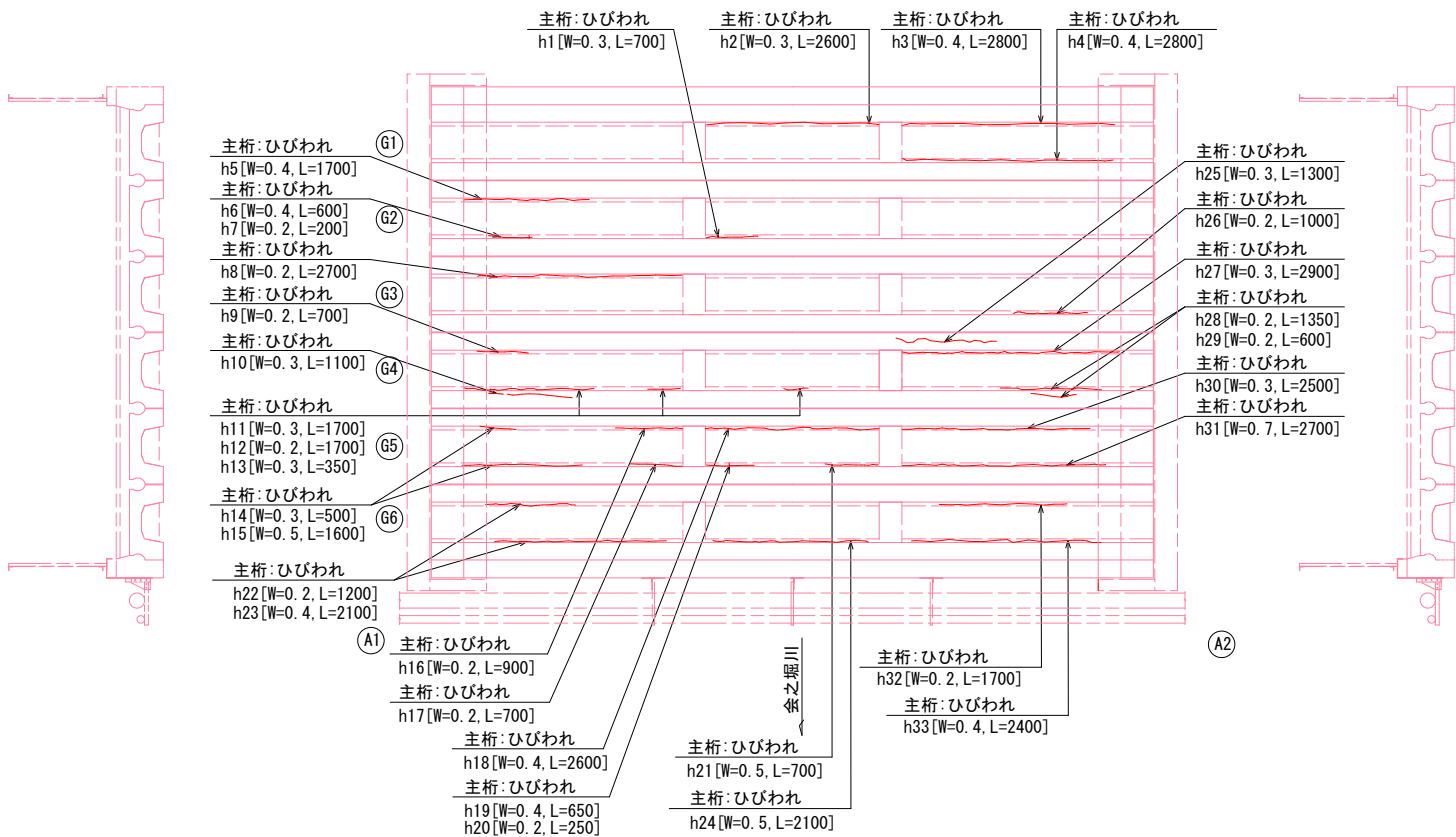
図面サイズ A 1 出力 A 3

工 事 名	E246号橋補修工事		
路 線 名	市道5-246号線		
工事箇所	春日部市南五丁目I地内		
図 面 名	E246号橋 補修一般図		
縮 尺	図示	図面番号	2 / 9
春日部市 建設部 道路建設課			

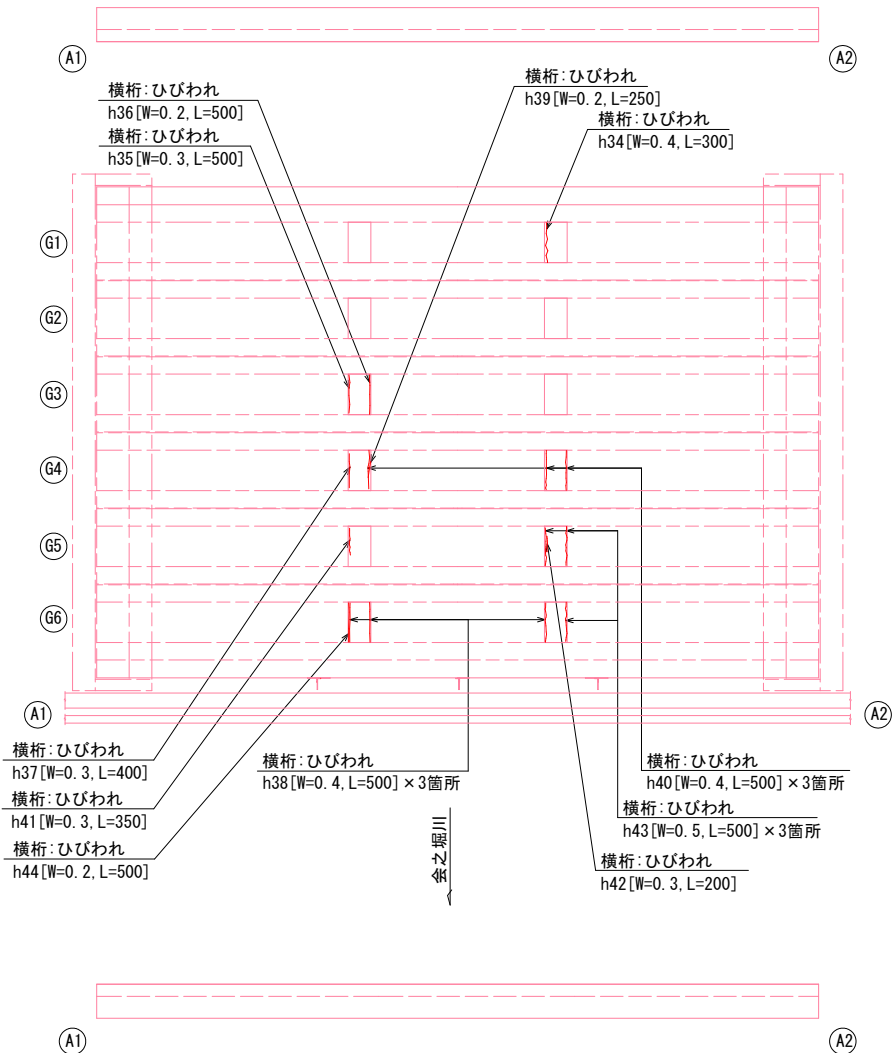
E246号橋 上部工補修工(その1) S=1:50

平面図

桁 下 (主桁のみ)



桁 下 (主桁以外の部材)



ひびわれ注入工数量表

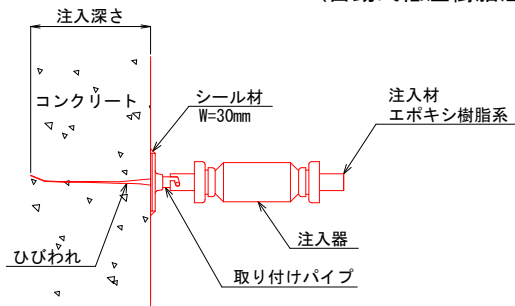
(0.2mm以上～1.0mm未満)

部材	No.	幅 (mm)	本数	延長 (mm)	注入器具 (個)
主桁	h1	0.30	1	700	3
主桁	h2	0.30	1	2600	9
主桁	h3	0.40	1	2800	10
主桁	h4	0.40	1	2800	10
主桁	h5	0.40	1	1700	6
主桁	h6	0.40	1	600	2
主桁	h7	0.20	1	200	1
主桁	h8	0.20	1	2700	9
主桁	h9	0.20	1	700	3
主桁	h10	0.30	1	1100	4
主桁	h11	0.30	1	1700	6
主桁	h12	0.20	1	1700	6
主桁	h13	0.30	1	350	2
主桁	h14	0.30	1	500	2
主桁	h15	0.50	1	1600	6
主桁	h16	0.20	1	900	3
主桁	h17	0.20	1	700	3
主桁	h18	0.40	1	2600	9
主桁	h19	0.40	1	650	3
主桁	h20	0.20	1	250	1
主桁	h21	0.50	1	700	3
主桁	h22	0.20	1	1200	4
主桁	h23	0.40	1	2100	7
主桁	h24	0.50	1	2100	7
主桁	h25	0.30	1	1300	5
主桁	h26	0.20	1	1000	4
主桁	h27	0.30	1	2900	10
主桁	h28	0.20	1	1350	5
主桁	h29	0.20	1	600	2
主桁	h30	0.30	1	2500	9
主桁	h31	0.70	1	2700	9
主桁	h32	0.20	1	1700	6
主桁	h33	0.40	1	2400	8
横桁	h34	0.40	1	300	1
横桁	h35	0.30	1	500	2
横桁	h36	0.20	1	500	2
横桁	h37	0.30	1	400	2
横桁	h38	0.40	3	1500	5
横桁	h39	0.20	1	250	1
横桁	h40	0.40	3	1500	5
横桁	h41	0.30	1	350	2
横桁	h42	0.30	1	200	1
横桁	h43	0.50	3	1500	5
横桁	h44	0.20	1	500	2
合 計				56900	205

ひびわれ注入工詳細図

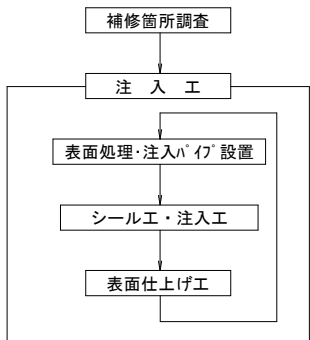
S=1:10

(自動式低圧樹脂注入工法)



※注入深さは鉄筋純かぶり厚の30mmとする。

施工手順



ひびわれ注入工 数量表

(1橋当り)

工 法	名 称	単 位	数 量	備 考
自動式低圧樹脂注入工法	施工延長	m	56.9	
	シール材	kg	8.4	エポキシ樹脂系、ロス率37%含む
	注入材	kg	12.3	エポキシ樹脂系、ロス率40%含む
	注入器具	本	205	0.3m当り1本

損 傷 の 凡 例

損傷の種類	表 示
ひびわれ 0.2mm以上～1.0mm未満	h

注記)

- 断面修復、ひびわれ補修の範囲は、「既往点検データ」「現地踏査」等に基づき決めているが、工事に際しては、劣化範囲の進展の可能性があるため劣化状況を確認すること。
- 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合や、うき、欠損部にて鉄筋露出が見られる際には、監督職員と協議の上同様の対策を実施すること。
- 脆弱部ははつり落とすこと。
- カッター工、はつり工の施工に際しては、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
- ひびわれ注入工の数量は想定深さで算出している。工事では、実際の使用量等で管理し、監督職員と協議の上、変更すること。
- 補修深さは現地確認の上、必要に応じて変更すること。

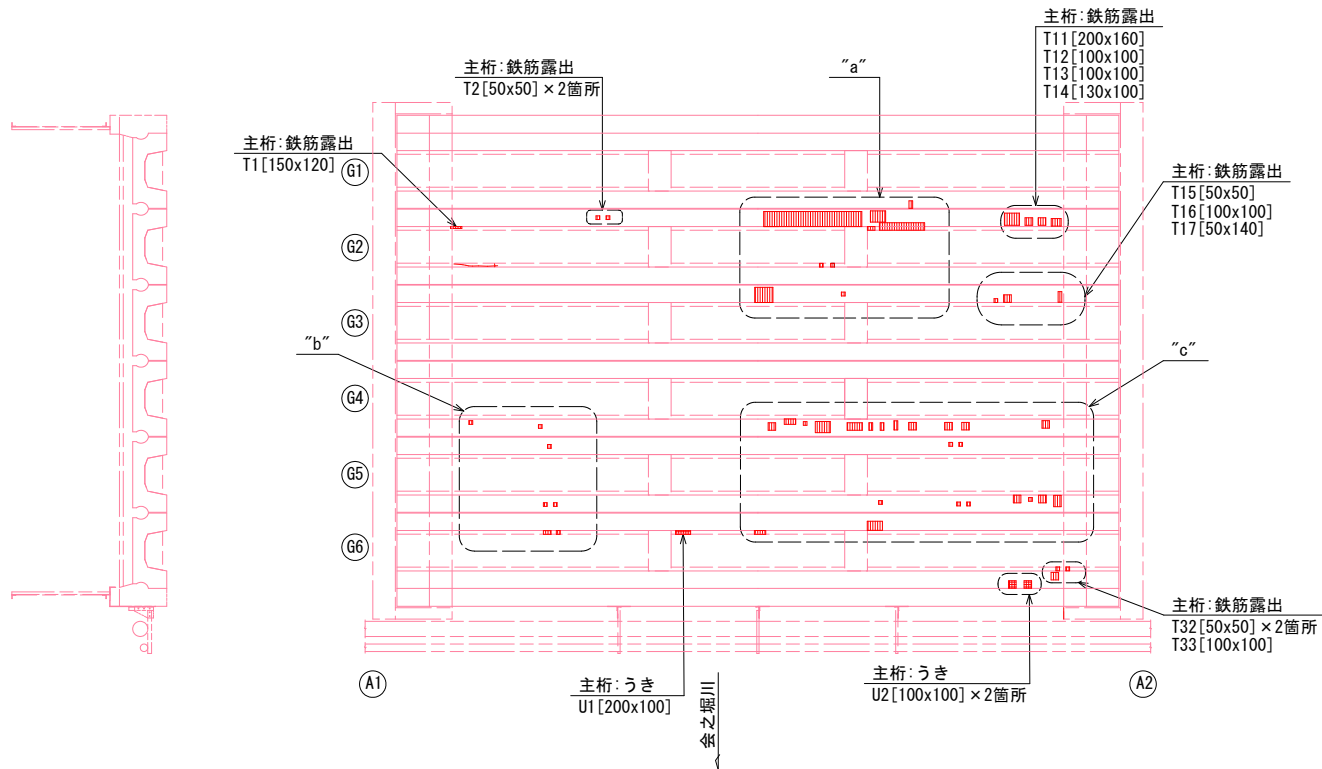
図面サイズ A 1 出力 A 3

工 事 名	E246号橋補修工事		
路 線 名	市道5-246号線		
工事箇所	春日部市南五丁目外1地内		
図 面 名	E246号橋 上部工補修工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	3 / 9
春日部市 建設部 道路建設課			

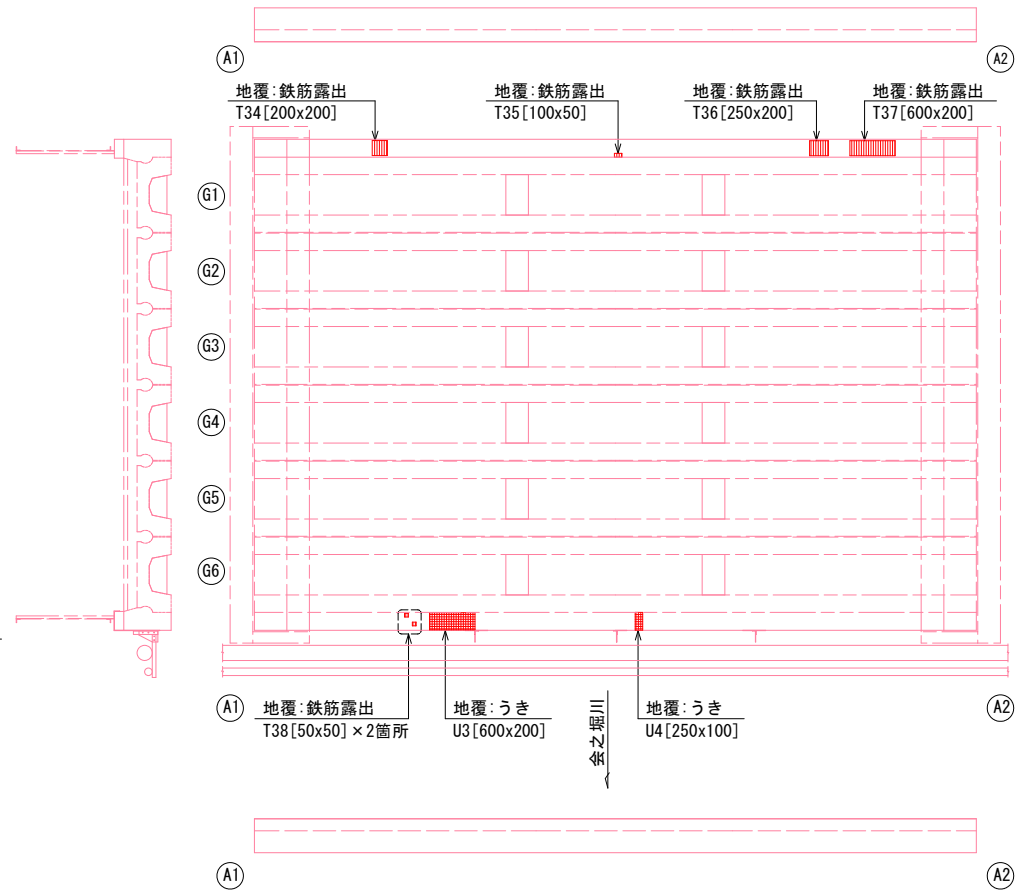
E246号橋 上部工補修工(その2) S=1:50

平面図

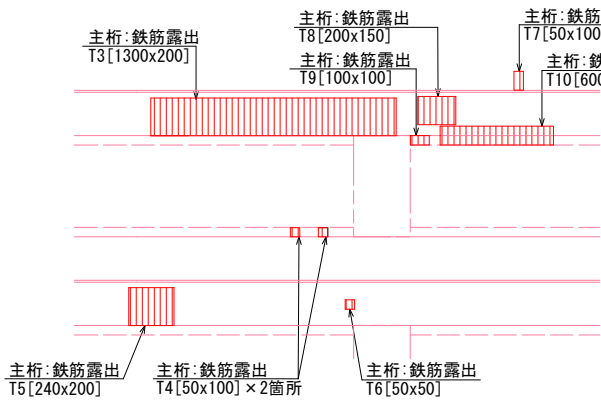
桁 下 (主桁のみ)



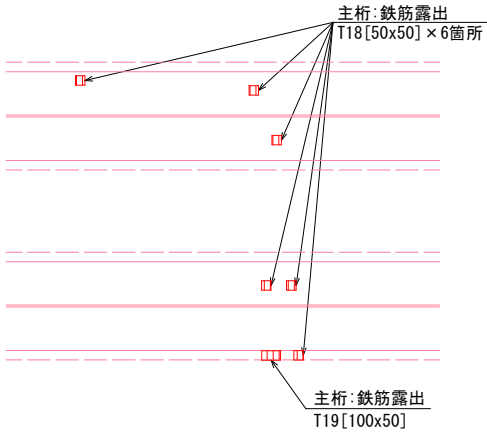
桁 下 (主桁以外の部材)



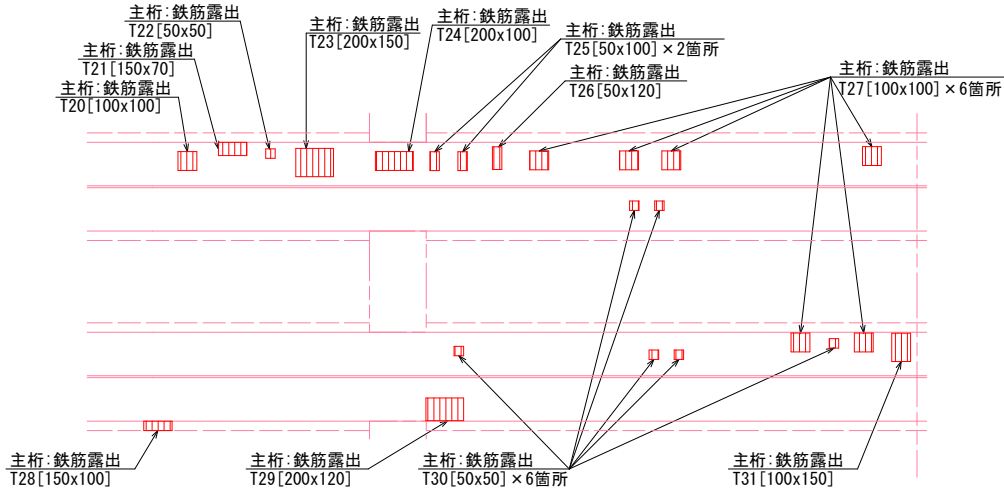
“a”部詳細 S=1:20



“b”部詳細 S=1:20



“c”部詳細 S=1:20



桁下
断面修復工A 数量表

部材	No.	補修範囲 (mm)	補修深さ (mm)	箇所	V (m3)
主桁	U1	200 x 100	60	1	0.0012
主桁	U2	100 x 100	60	2	0.0012
地覆	U3	600 x 200	60	1	0.0072
地覆	U4	250 x 100	60	1	0.0015
主桁	T1	150 x 120	60	1	0.0011
主桁	T2	50 x 50	60	2	0.0003
主桁	T3	1300 x 200	60	1	0.0156
主桁	T4	50 x 100	60	2	0.0006
主桁	T5	240 x 200	60	1	0.0029
主桁	T6	50 x 50	60	1	0.0002
主桁	T7	50 x 100	60	1	0.0003
主桁	T8	200 x 150	60	1	0.0018
主桁	T9	100 x 100	60	1	0.0006
主桁	T10	600 x 150	60	1	0.0054
主桁	T11	200 x 160	60	1	0.0019
主桁	T12	100 x 100	60	1	0.0006
主桁	T13	100 x 100	60	1	0.0006
主桁	T14	130 x 100	60	1	0.0008
主桁	T15	50 x 50	60	1	0.0002
主桁	T16	100 x 100	60	1	0.0006
主桁	T17	50 x 140	60	1	0.0004
主桁	T18	50 x 50	60	6	0.0009
主桁	T19	100 x 50	60	1	0.0003
主桁	T20	100 x 100	60	1	0.0006

桁下
断面修復工A 数量表

部材	No.	補修範囲 (mm)	補修深さ (mm)	箇所	V (m3)
主桁	T21	150 x 70	60	1	0.0007
主桁	T22	50 x 50	60	1	0.0002
主桁	T23	200 x 150	60	1	0.0018
主桁	T24	200 x 100	60	1	0.0012
主桁	T25	50 x 100	60	2	0.0006
主桁	T26	50 x 120	60	1	0.0004
主桁	T27	100 x 100	60	6	0.0036
主桁	T28	150 x 100	60	1	0.0009
主桁	T29	200 x 120	60	1	0.0014
主桁	T30	50 x 50	60	6	0.0009
主桁	T31	100 x 150	60	1	0.0009
主桁	T32	50 x 50	60	2	0.0003
主桁	T33	100 x 100	60	1	0.0006
主桁	T34	200 x 200	60	1	0.0024
主桁	T35	100 x 50	60	1	0.0003
主桁	T36	250 x 200	60	1	0.0030
主桁	T37	600 x 200	60	1	0.0072
主桁	T38	50 x 50	60	2	0.0003
合 計					0.0735

損 傷 の 凡 例

損傷の種類	表 示
鉄筋露出	T
うき	U

注記)

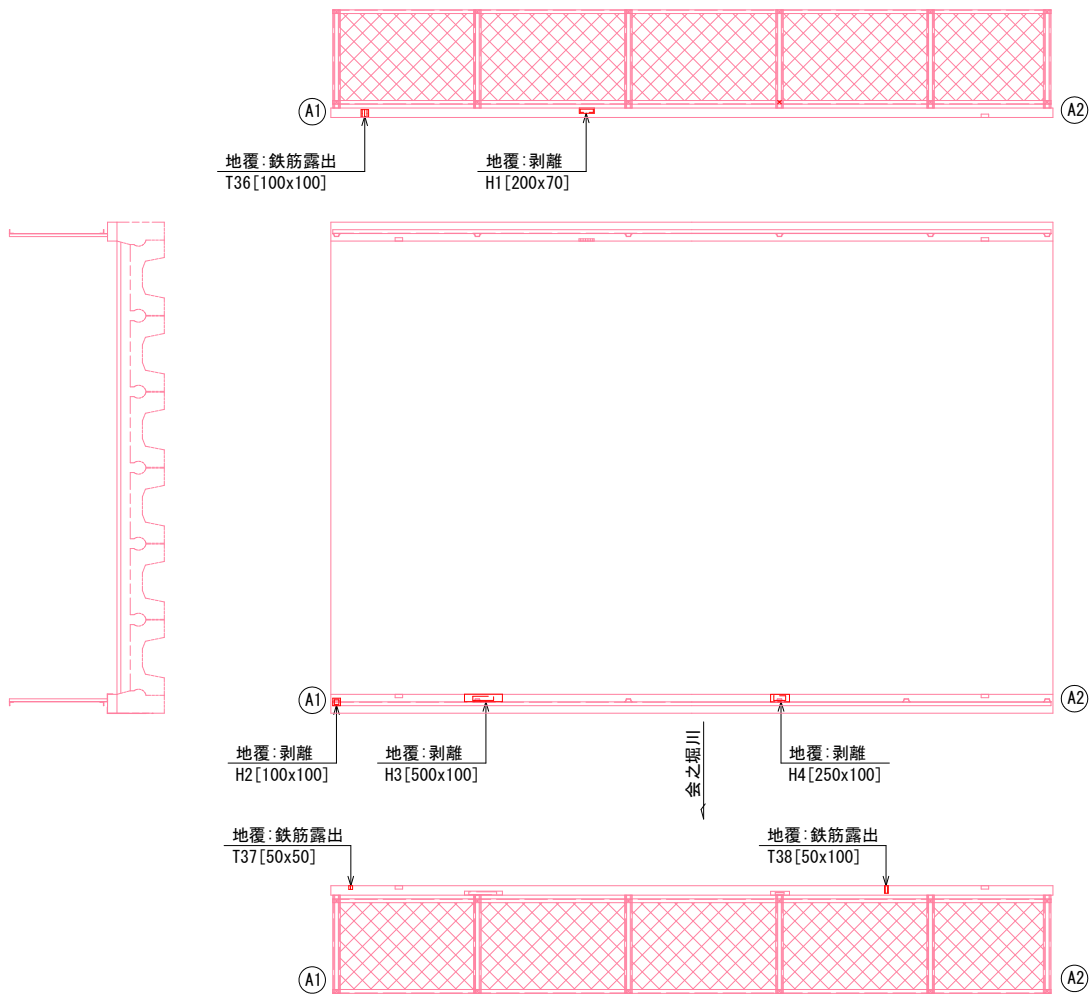
1. 断面修復、ひびわれ補修の範囲は、「既往点検データ」「現地踏査」等に基づき決めているが、工事に際しては、劣化範囲の進展の可能性があるため劣化状況を確認すること。
2. 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合や、うき、欠損部にて鉄筋露出が見られる際には、監督職員と協議の上同様の対策を実施すること。
3. 脆弱部ははつり落とすこと。
4. カッター工、はつり工の施工に際しては、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
5. ひびわれ注入工の数量は想定深さで算出している。工事では、実際の使用量等で管理し、監督職員と協議の上、変更すること。
6. 補修深さは現地確認の上、必要に応じて変更すること。

図面サイズ A 1 出力 A 3

工 事 名	E246号橋補修工事
路 線 名	市道5-246号線
工事箇所	春日部市南五丁目外1地内
図 面 名	E246号橋 上部工補修工(その2)
縮 尺	図示 図面番号 4 / 9
春日部市 建設部 道路建設課	

E246号橋 上部工補修工(その3) S=1:50

平面図
橋 面



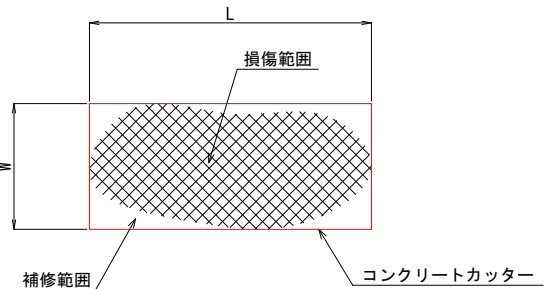
橋面
断面修復工A 数量表

部材	No.	補修範囲 (mm)	補修深さ (mm)	箇所	V (m3)
地覆	T36	100 x 100	60	1	0.0006
地覆	T37	50 x 50	60	1	0.0002
地覆	T38	50 x 100	60	1	0.0003
合 計					0.0011

橋面
断面修復工B 数量表

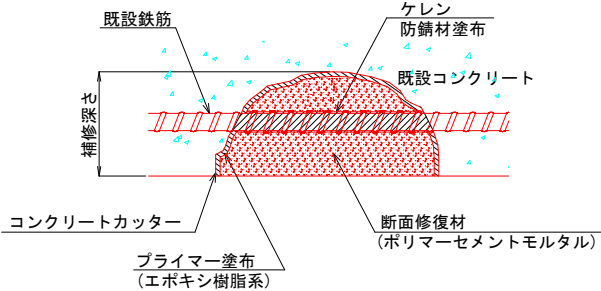
部材	No.	補修範囲 (mm)	補修深さ (mm)	箇所	V (m3)
地覆	H1	200 x 70	30	1	0.0004
地覆	H2	100 x 100	30	1	0.0003
地覆	H3	500 x 100	30	1	0.0015
地覆	H4	250 x 100	30	1	0.0008
合 計					0.0030

断面修復範囲図 S=1:10



断面修復工A詳細図 S=1:10

鉄筋露出 (T) ・ うき (U)
＜ 断面修復補修深さ = 60mm ＞

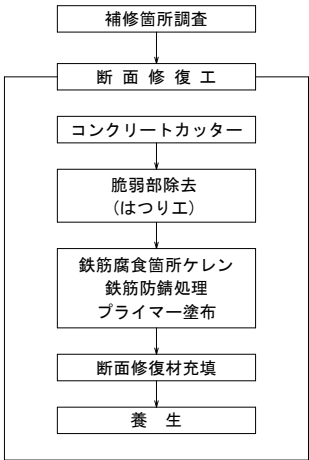


- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。
- ※ 脆弱部および鋼材の裏側までコンクリートをはつり取る。
- ※ 腐食した鋼材の錆を完全に除去する。
- ※ 補修深さは鉄筋純かぶり厚30mmと鉄筋径D13 (推定) × 1本と余裕量10mmを切上げた60mmとする。

断面修復工A 数量表(鉄筋ケレン・防錆処理含む) (1橋当り)

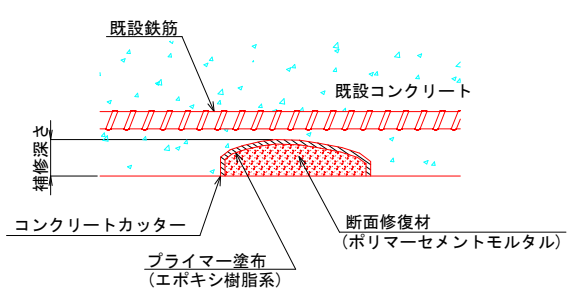
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
施工量		m3	0.075	
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m3	0.09	ロス率18%含む

施工手順



断面修復工B詳細図 S=1:10

剥離 (H)
＜ 断面修復補修深さ = 30mm ＞

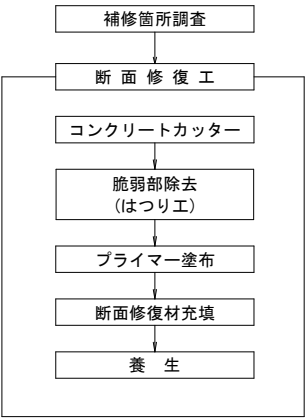


- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。
- ※ 補修深さは鉄筋純かぶり厚の30mmとする。

断面修復工B 数量表(鉄筋ケレン・防錆処理含まない) (1橋当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
施工量		m3	0.003	
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m3	0.004	ロス率18%含む

施工手順



図面サイズA 1 出力A 3

損 傷 の 凡 例	
損傷の種類	表 示
鉄筋露出	T
剥離	H

注記)

- 断面修復、ひびわれ補修の範囲は、「既往点検データ」「現地踏査」等に基づき決めているが、工事に際しては、劣化範囲の進展の可能性があるため劣化状況を確認すること。
- 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合や、うき、欠損部にて鉄筋露出が見られる際には、監督職員と協議の上同様の対策を実施すること。
- 脆弱部ははつり落とすこと。
- カッター工、はつり工の施工に際しては、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
- ひびわれ注入工の数量は想定深さで算出している。工事では、実際の使用量等で管理し、監督職員と協議の上、変更すること。
- 補修深さは現地確認の上、必要に応じて変更すること。

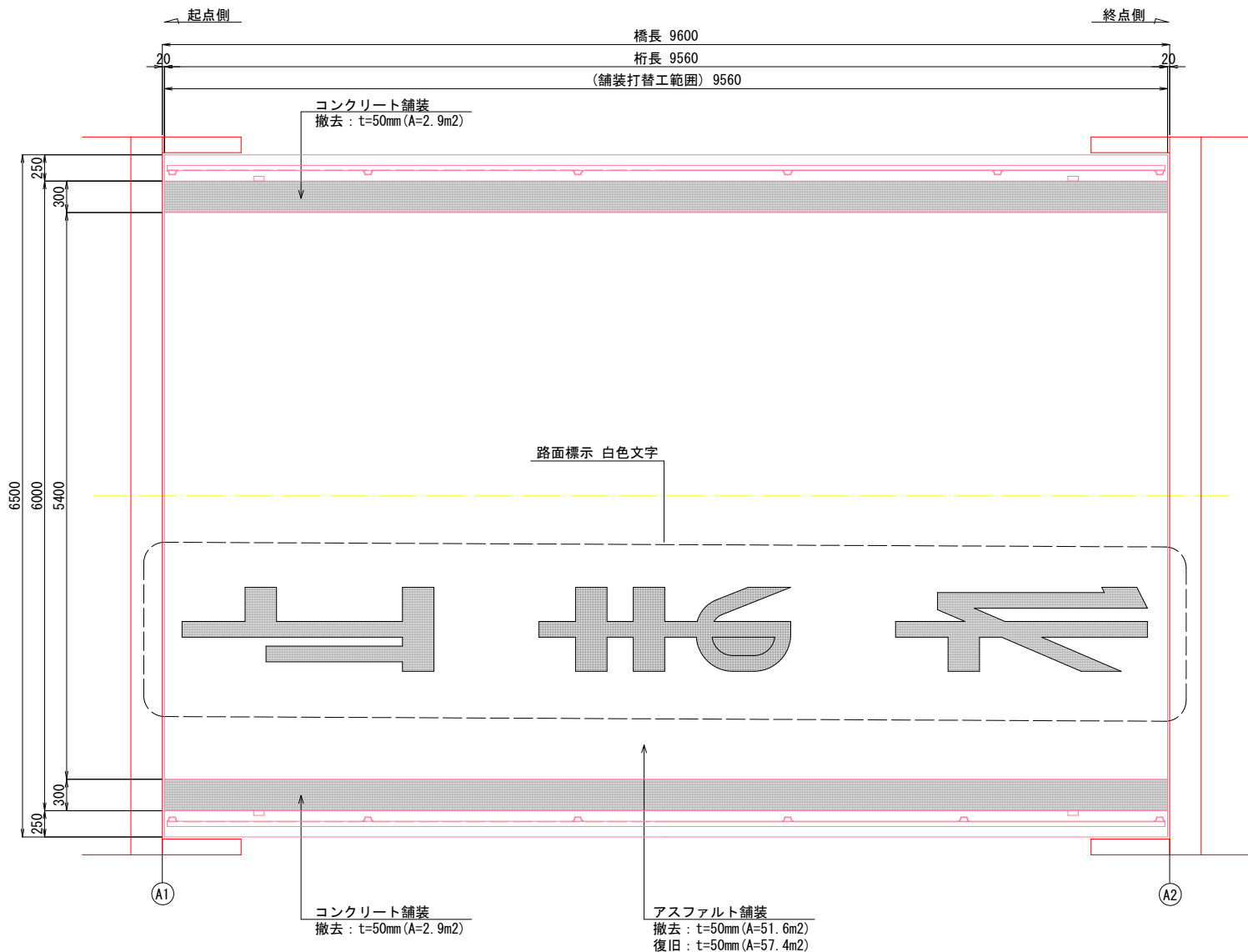
図面サイズA 1 出力A 3

工 事 名	E246号橋補修工事		
路 線 名	市道5-246号線		
工事箇所	春日部市南五丁目外1地内		
図 面 名	E246号橋 上部工補修工(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	5 / 9
春日部市 建設部 道路建設課			

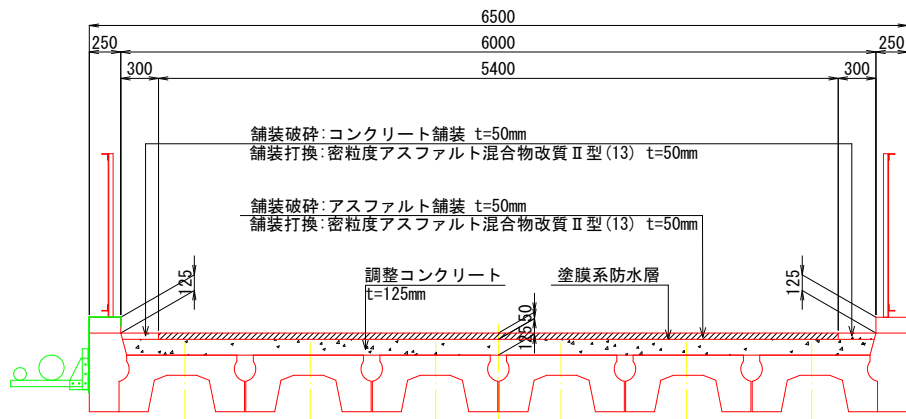
E246号橋 橋面工(その1) S=1:30

舗装打替工・路面標示工

平面図



標準断面図



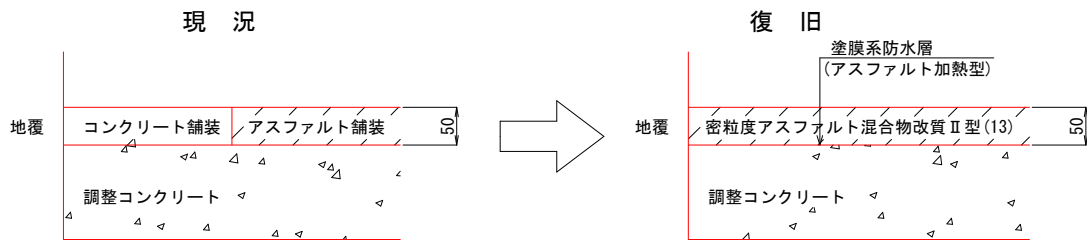
舗装打替工 数量表

工種	規格	単位	数量	備考
撤去	t=50mm (コンクリート舗装)	m2	5.7	参考重量: 0.67t
		m3	0.3	
	t=50mm (アスファルト舗装)	m2	51.6	
		m3	2.6	
復旧	t=50mm (密粒度アスファルト混合物改質Ⅱ型(13))	m2	57.4	

路面標示工 数量表

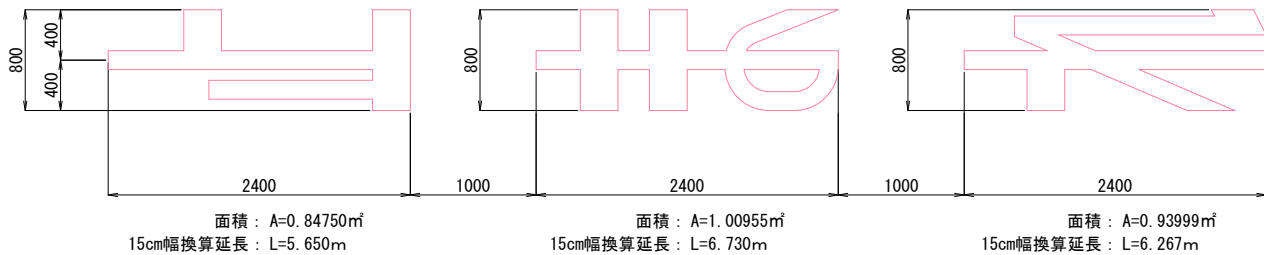
工種	規格	単位	数量	摘要
路面標示工	道路標示(白色文字)	m	22.4	熔融式手動 t=1.5mm 【15cm換算長】 (ロス率20%含む)

舗装構成図 S=1:5



路面標示詳細図

道路標示(白色文字)



注記

- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
- アスファルト舗装を切削する際は、調整コンクリートを切削しないように注意して施工すること。
- 舗装版の切削にあたっては、施工前に舗装厚確認を行い、設計舗装厚と現地が異なる場合は、舗装構成について監督員と協議すること。
- アスファルト舗装を切削した際、調整コンクリートに損傷があった場合は、別途監督員と協議の上、断面修復工等の措置を施すこと。
- 分割施工を行う場合は、参考図に示す通り、塗膜系防水層を重ね合わせて施工すること。
- 「路面標示ハンドブック/（社）全国道路標識・標示業協会」及び「路面標示施工に関する手引/三多摩交通安全施設業協会」を参考とする。

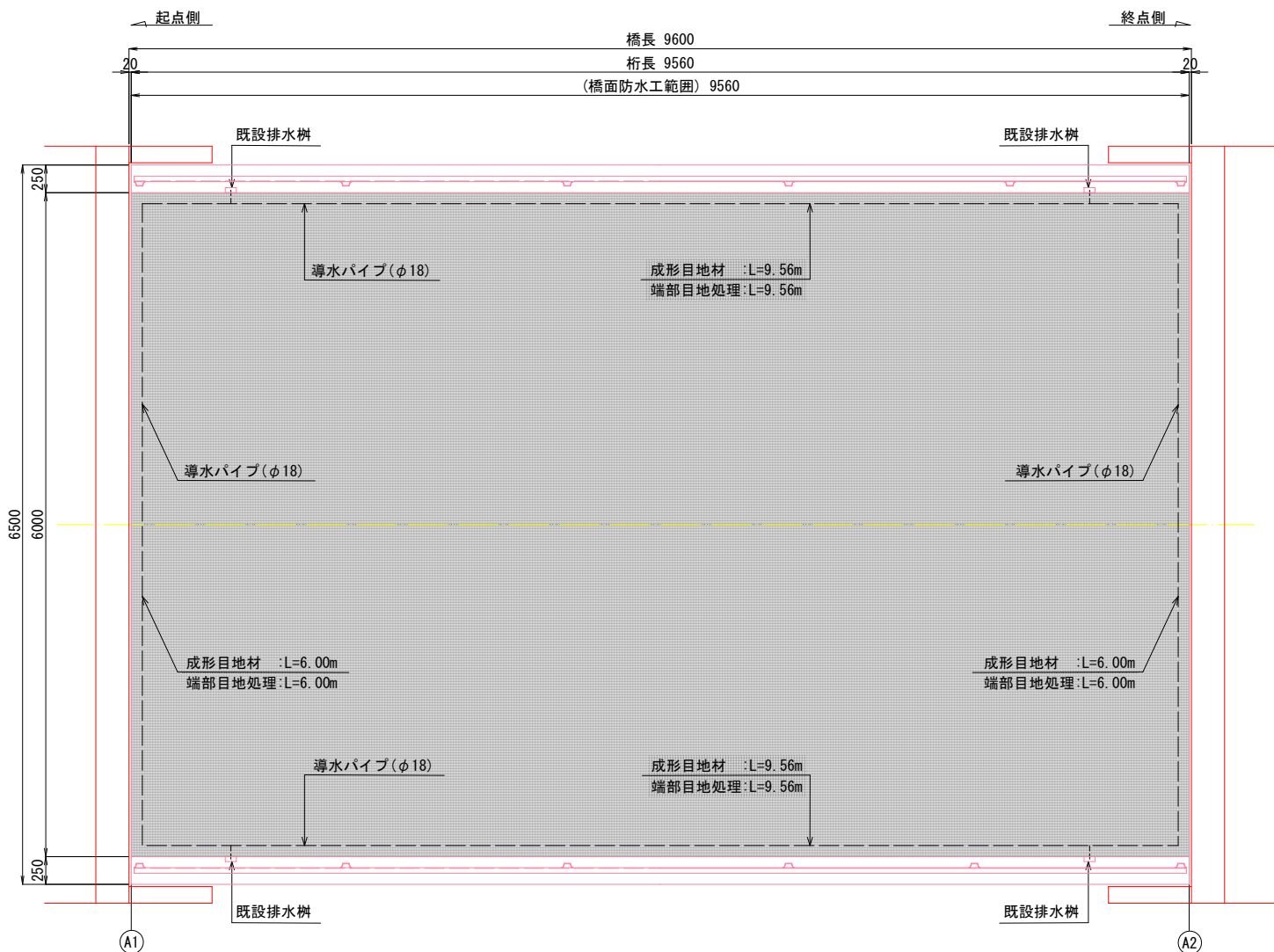
図面サイズ A 1 出力 A 3

工事名	E246号橋補修工事
路線名	市道5-246号線
工事箇所	春日部市南五丁目外1地内
図面名	E246号橋 橋面工(その1)
縮尺	図示 図面番号 6 / 9
春日部市 建設部 道路建設課	

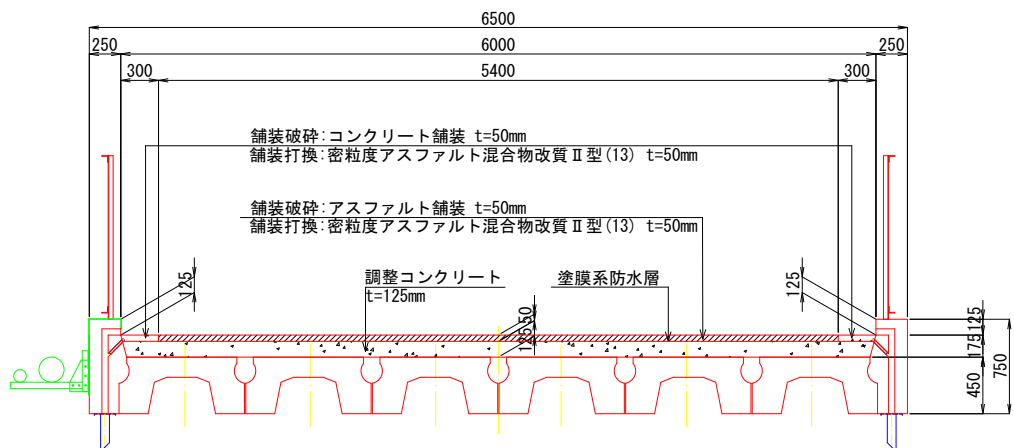
E246号橋 橋面工(その2) S=1:30

橋面防水工

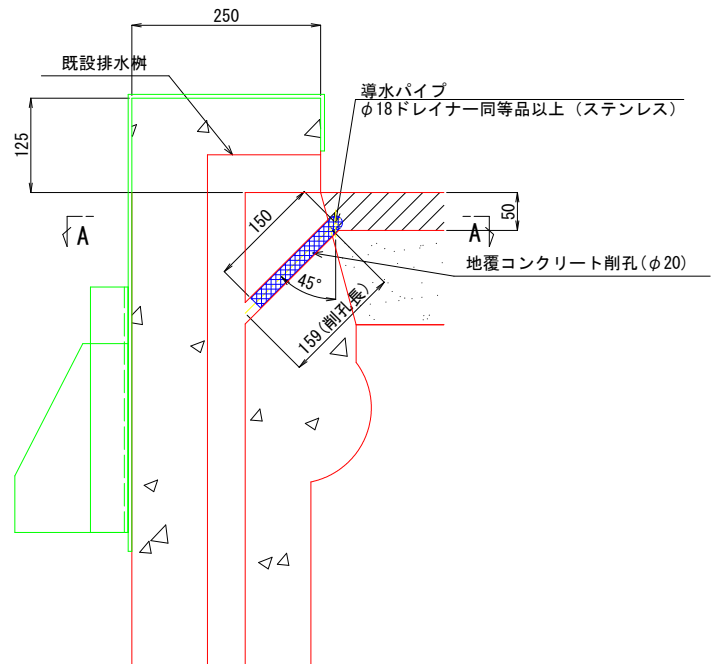
平面図



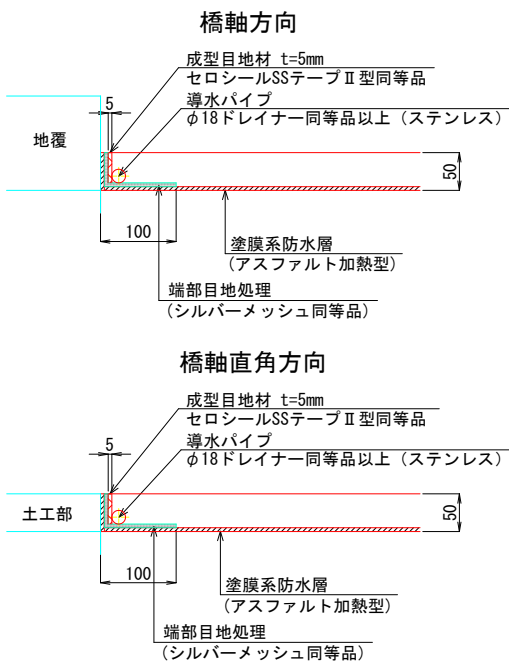
標準断面図



導水流末処理詳細図 S=1:5
(全4箇所)



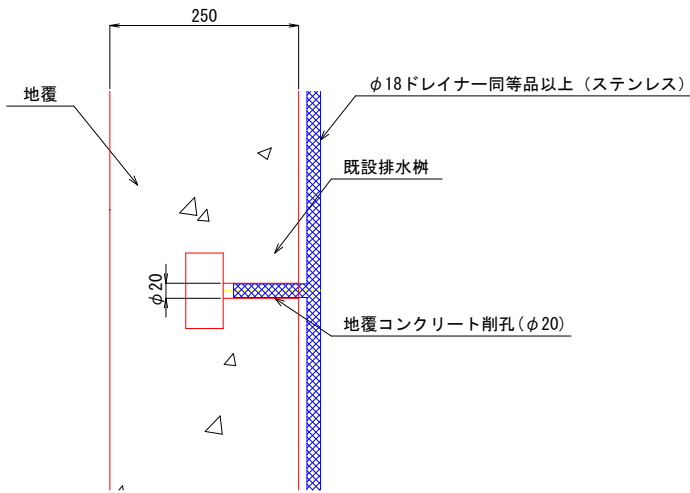
橋面防水端部処理詳細図 S=1:5



橋面防水工 数量表

細 別	規 格	単位	数量	備 考
防水層面積	塗膜系防水層 (アスファルト加熱型)	m ²	57.4	
端部目地処理	シルバーメッシュ同等品 (t=50mm)	橋軸方向 m 橋軸直角方向 m	19.1 12.0	必要幅150mm 必要幅150mm
成形目地材	セロシールSSテープⅡ型同等品 (t=5mm)	m	31.1	
導水パイプ	φ18ドレイナー同等品以上 (ステンレス)	m	31.7	
削孔工	φ20×159	m	0.3	

A - A S=1:5



注記)

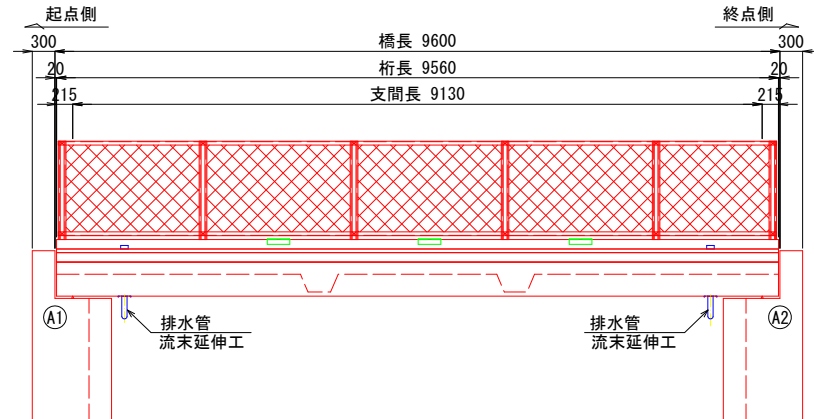
- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
- アスファルト舗装を切削する際は、調整コンクリートを切削しないように注意して施工すること。
- 舗装版の切削にあたっては、施工前に舗装厚確認を行い、設計舗装厚と現地が異なる場合は、舗装構成について監督員と協議すること。
- アスファルト舗装を切削した際、調整コンクリートに損傷があった場合は、別途監督員と協議の上、断面修復工等の措置を施すこと。
- 分割施工を行う場合は、参考図に示す通り、塗膜系防水層を重ね合わせて施工すること。

図面サイズ A 1 出力 A 3

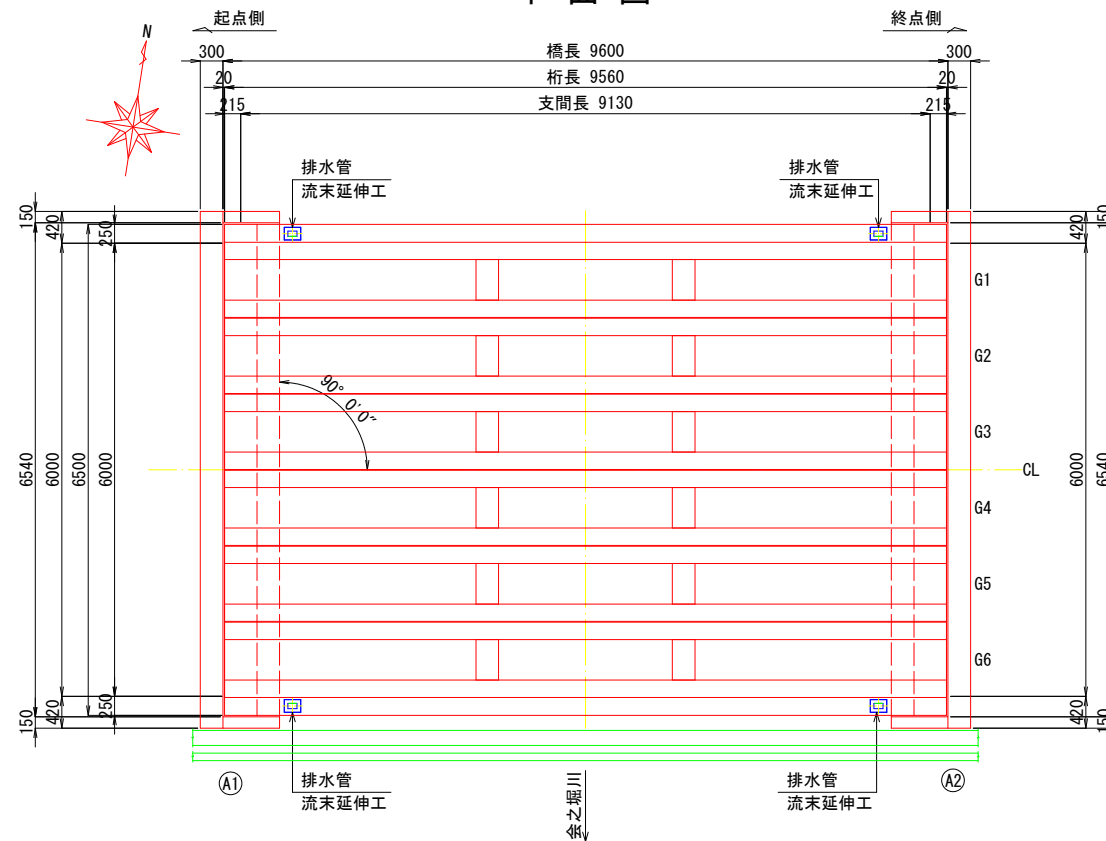
工 事 名	E246号橋補修工事
路 線 名	市道5-246号線
工事箇所	春日部市南五丁目外1地内
図 面 名	E246号橋 橋面工(その2)
縮 尺	図示 図面番号 7 / 9
春日部市 建設部 道路建設課	

E246号橋 排水装置改良工 S=1:50

側面図



平面图

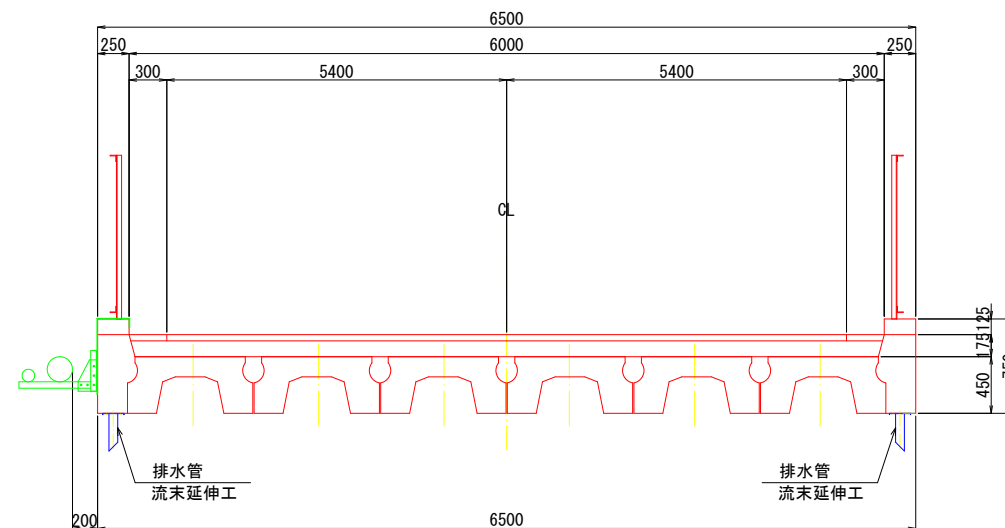


排水装置改良工数量表

(1橋当り)

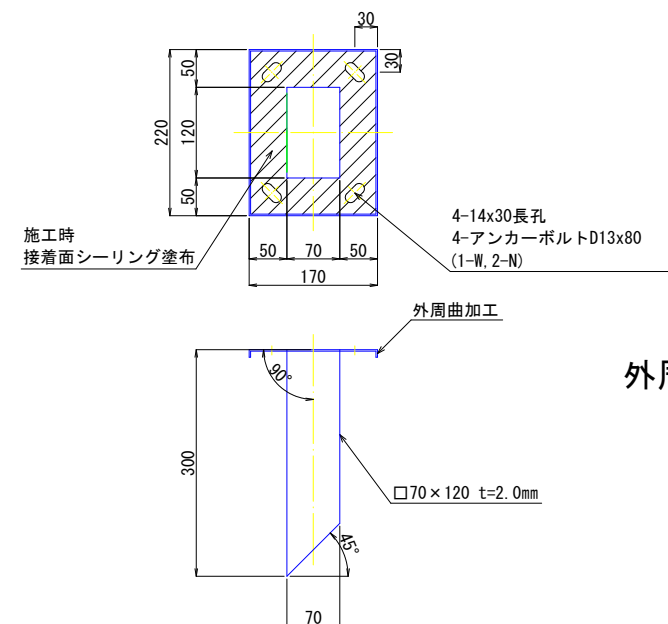
名 称		規 格	単位	数 量	備 考
流末延伸工	天板プレート一体型排水装置		組	4	SUS304
	流末延伸延長		m	1.2	□70×120, t=2.0mm, L=300mm
	アンカー設置工	鉄筋探查工	m2	0.1	上向き
		設置本数	本	16	
		コンクリート削孔工	孔	16	
		エポキシ樹脂注入工	kg	1.2	
	接着面シーリング塗布		m2	0.1	

断面図 S=1:30

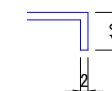


天板プレート一体型排水装置詳細 S=1:5

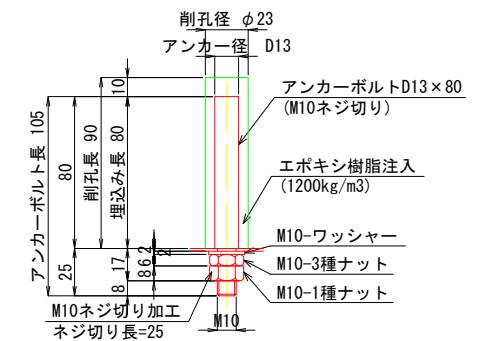
製作数(4組)



外周曲加工詳細 S=1:1



アンカーボルト詳細図 S=1:2



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛メッキを施すものとする。

注記)

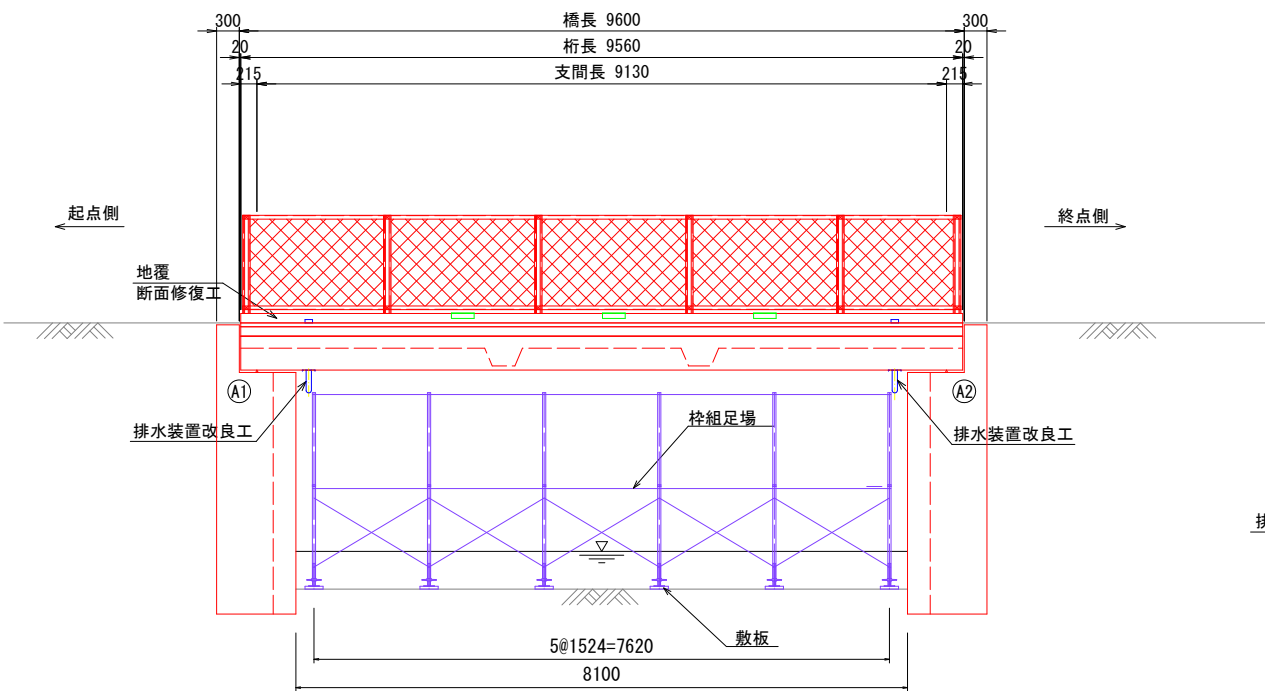
1. 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
2. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
3. 流末延伸用の天板プレート一体型排水装置はNETIS No. CB-19003-A相当品とすること。

図面サイズ A 1 出力 A 3

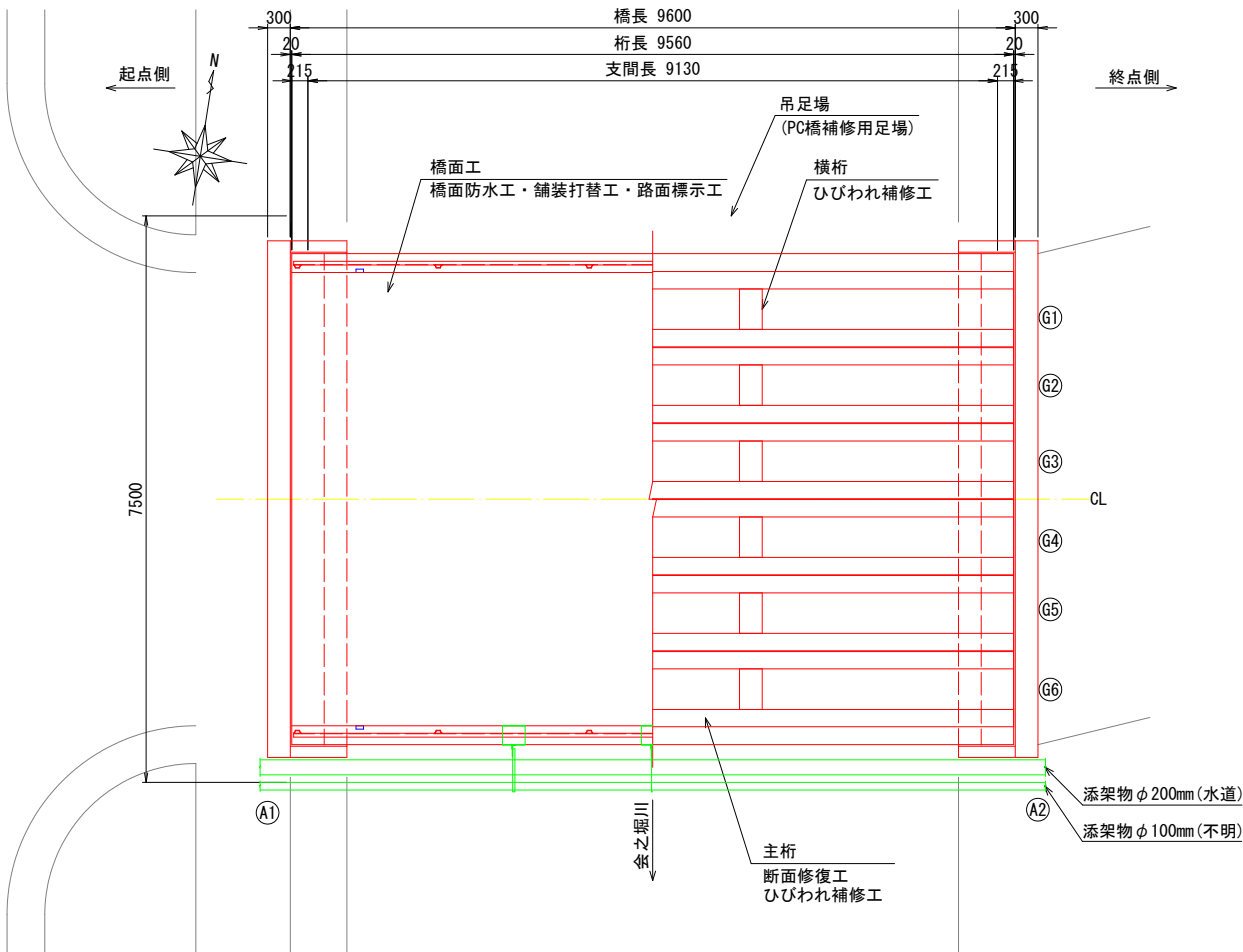
工 事 名	E246号橋補修工事		
路 線 名	市道5-246号線		
工事箇所	春日部市南五丁目外1地内		
図 面 名	E246号橋 排水装置改良工		
縮 尺	図示	図面番号	8 / 9
春日部市 建設部 道路建設課			

E246号橋 足場工計画図(参考図) S=1:50

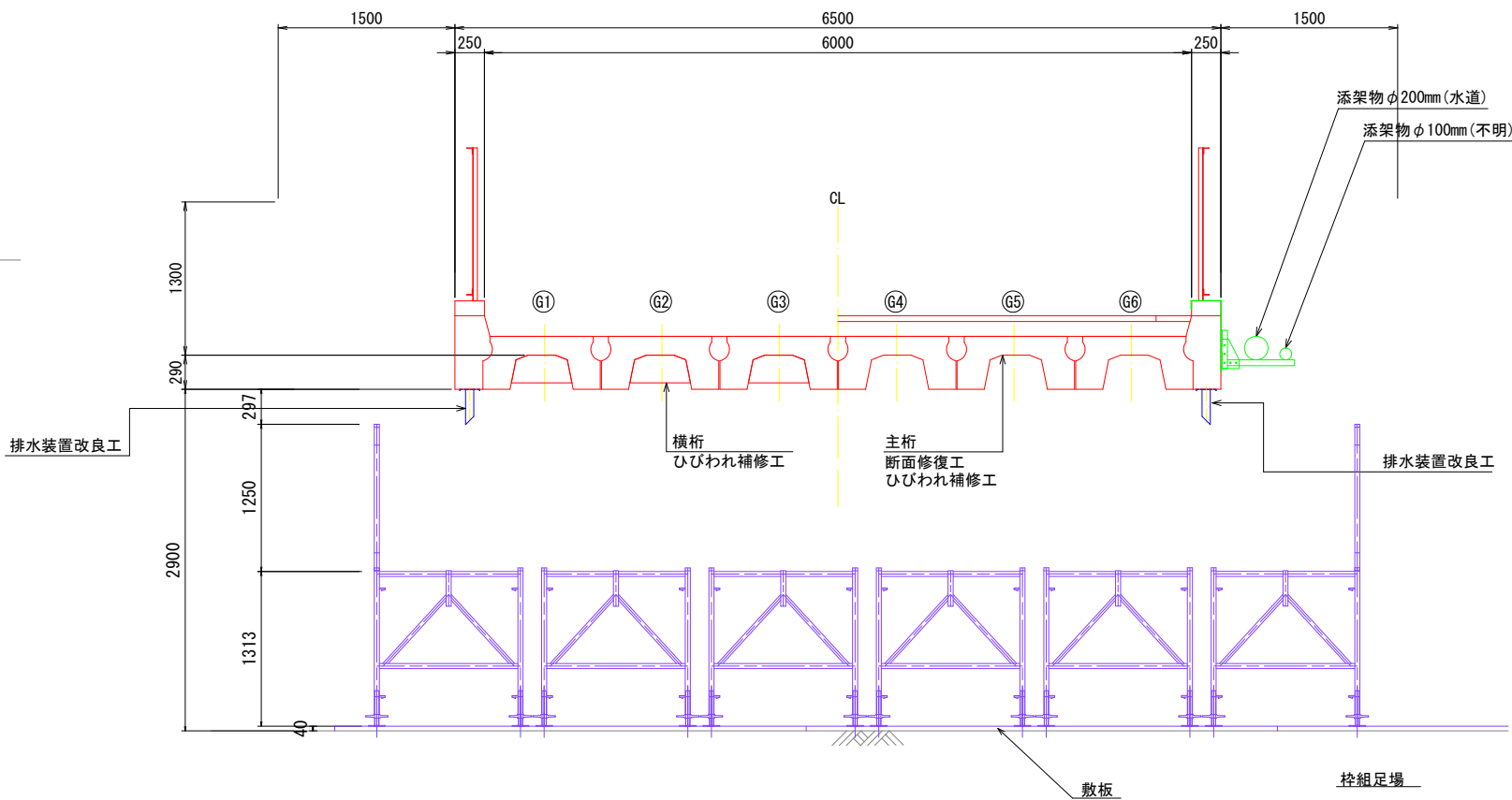
側面図



平面図



断面図 S=1:30



足場工数量

足場工	細目	計 算 式	単 位	(1式当り)	
				数 量	備 考
	桟組足場	$2 \times (2.563 \times 7.620) + 4 \times (1.313 \times 7.620)$	m ²	79.1	

注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。
2. 本図での方位はおおよその向きを示すものであり、測量結果に基づくものではない。

図面サイズ A 1 出力 A 3

工 事 名	E246号橋補修工事			
路 線 名	市道2-21号線			
工事箇所	春日部市南五丁目外1地内			
図 面 名	E246号橋 足場工計画図(参考図)			
縮 尺	図示	図面番号	9	/ 9
春日部市 建設部 道路建設課				